



itsuwaris

wo

sleighuu

ドクハク / HB

6

青

春

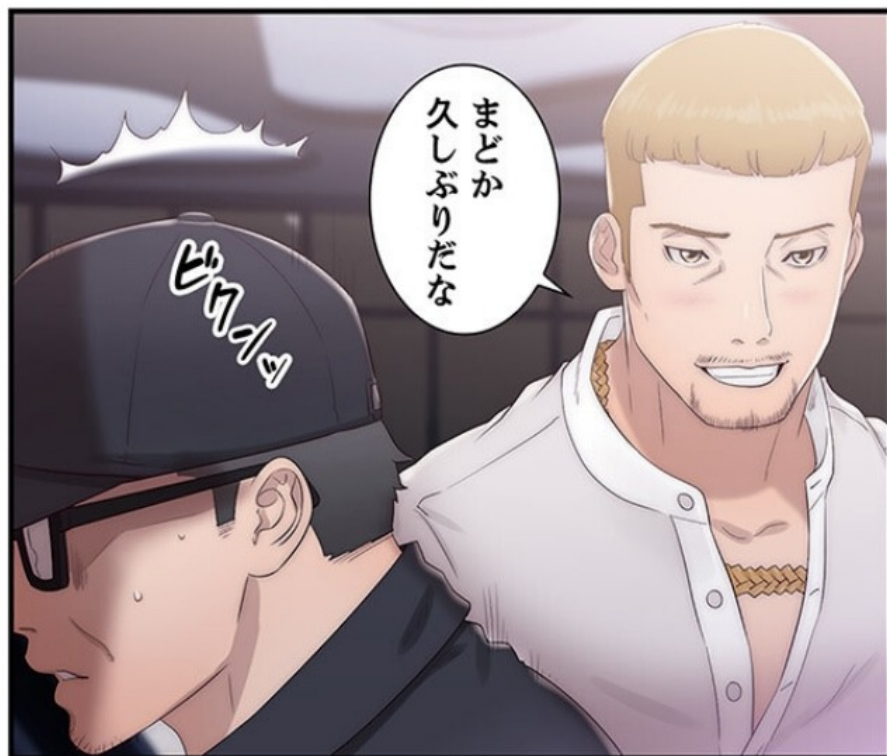
itsuwari

の

偽

り

seishun



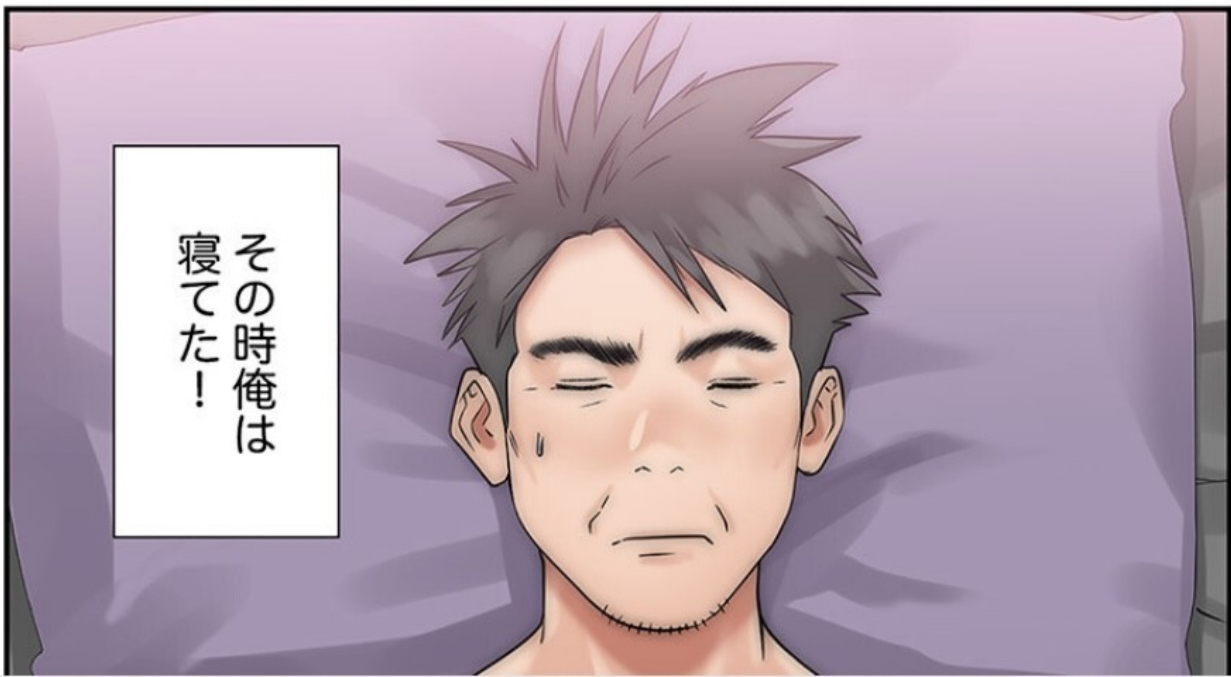
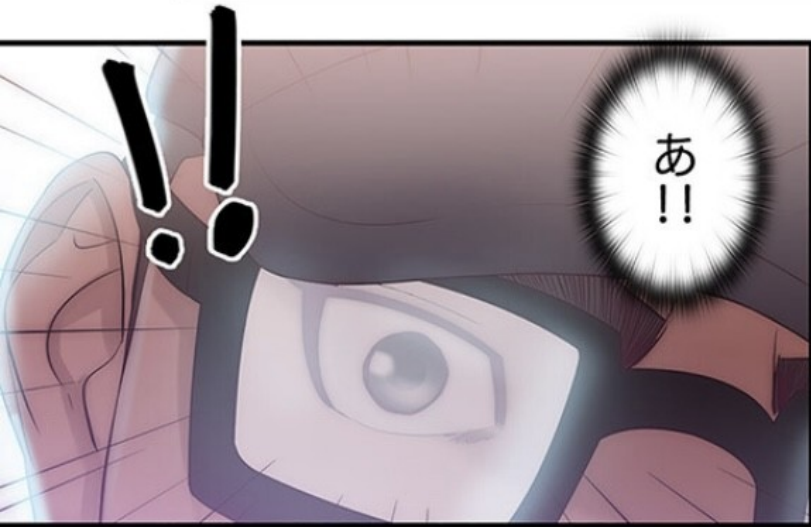




これはもしかして  
酒に酔った時も体が  
入れ替わるんじゃない？

こいつ酒を飲んでたよな  
美和の時もだ！

そういえば  
昨日体が入れ替わった時



俺が寝てないと  
体が入れ替わらないって  
ことだったんだ！



今から  
俺が眠ればあいつの  
体に入れるはずだ

キラ



キラ



他の方法は…

あ！

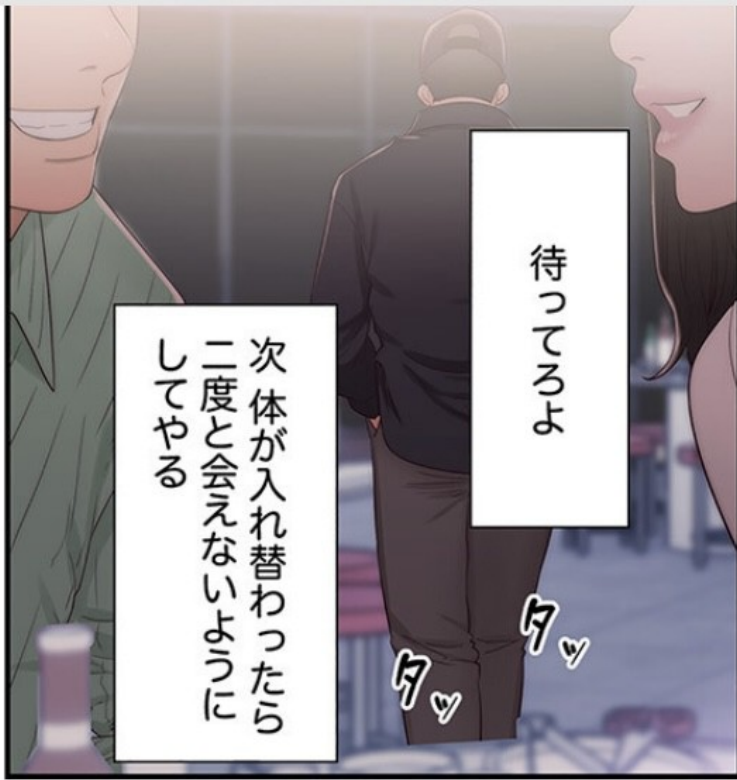


そうすれば…

ふむ

酒を浴びるほど  
飲むか…

うむむけど  
時間もかかるし  
場所も…



待ってるよ

次体が入れ替わったら  
二度と会えないように  
してやる



あいつに飲ませた  
睡眠薬！

それで  
眠れば良いんだ！



雄大  
気になることが  
あるんだけど

何ですか？



えっと…

そういえば…

バイトを  
始めてから  
そういうことが  
起きましたね



寝る時変なことが  
起こるのって

それいつから  
なの？



配達なんですけど  
主にチキン屋さんで  
働いています

5時間ぐらい  
働くんなんですけど  
バイト代が  
良いんですよ



バイト？

そういえば  
言ってたわね？  
何のバイトなの？



そう…  
なんで急にバイトを  
始めたの？

もしかしてバイクのため？  
それなら私に  
言ってくれたらいいのに



そうじゃなくて  
実は…

来月の21日が  
母親の誕生日  
なんですよ

あら  
そうだったの



いいえ

バイクは  
俺の小遣いで  
管理できます

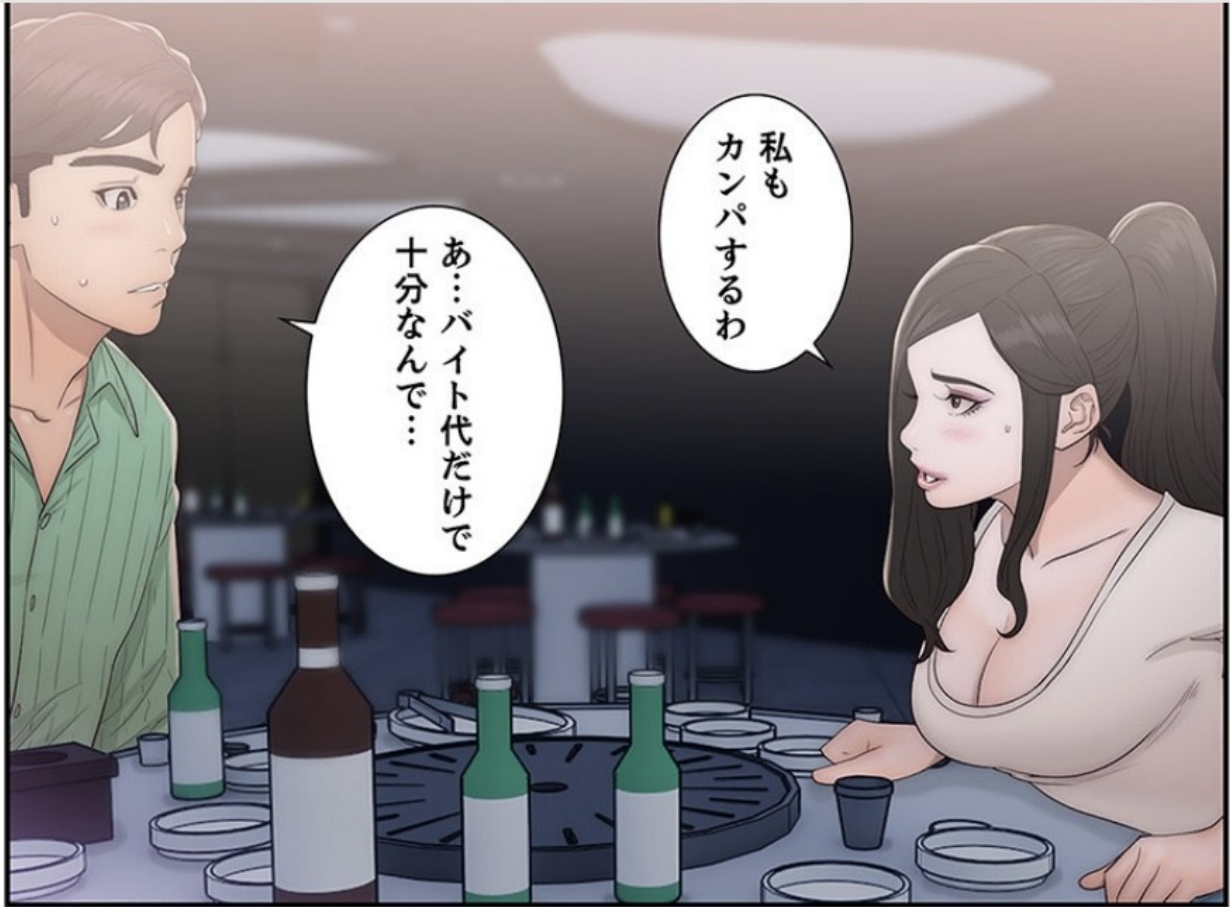


海外旅行？  
お婆さんも  
喜びそうね

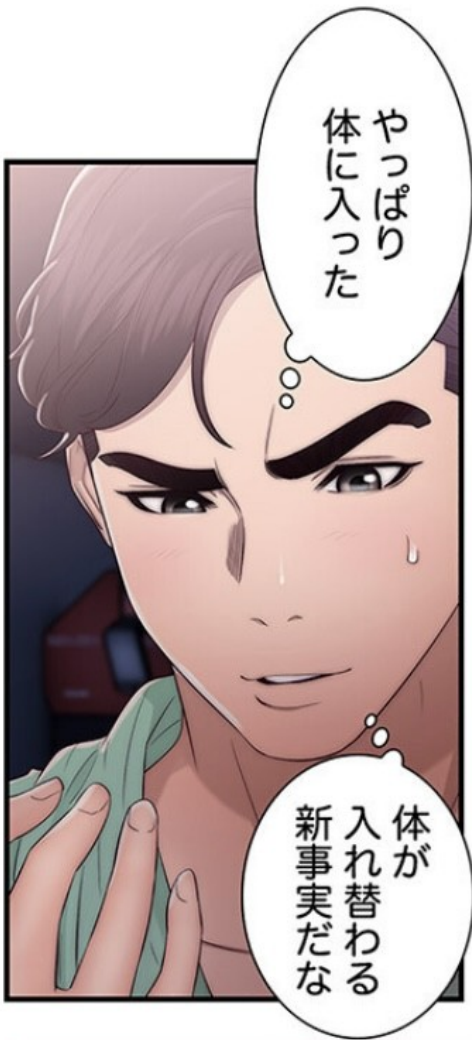


はいそれで  
母さんの誕生日  
プレゼントで  
海外旅行を  
贈ろうと思って

秘密でお金を  
貯めているんです







やっぱり  
体に入った

体が  
入れ替わる  
新事実だな



あ…

ズッ

ビクッ



カタ…

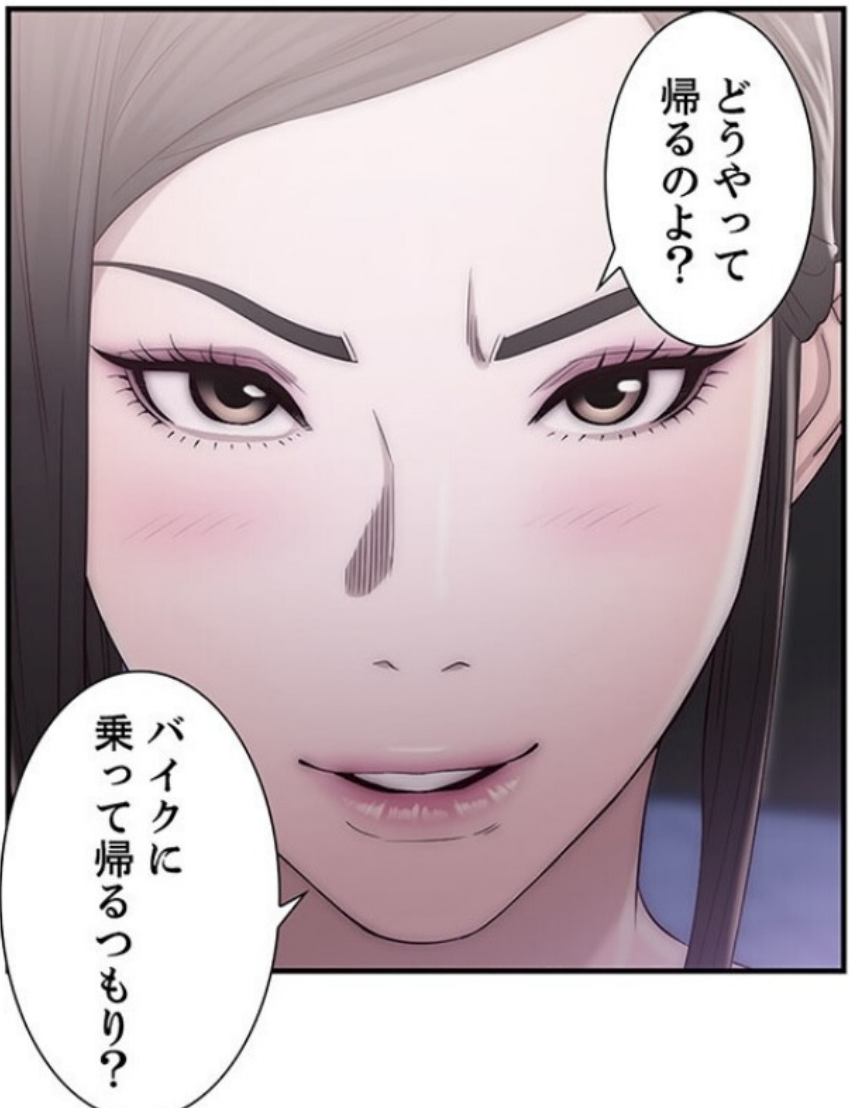
あ…頭が痛いな  
飲み過ぎた  
みたいだ

俺先に  
帰るね



何してるの  
うとうとしたの？

あ…うん  
もう酔ったみたいだ





無駄口叩かずに私について来て







酔い覚ましなら  
一つしかないでしょ？

ふんっ



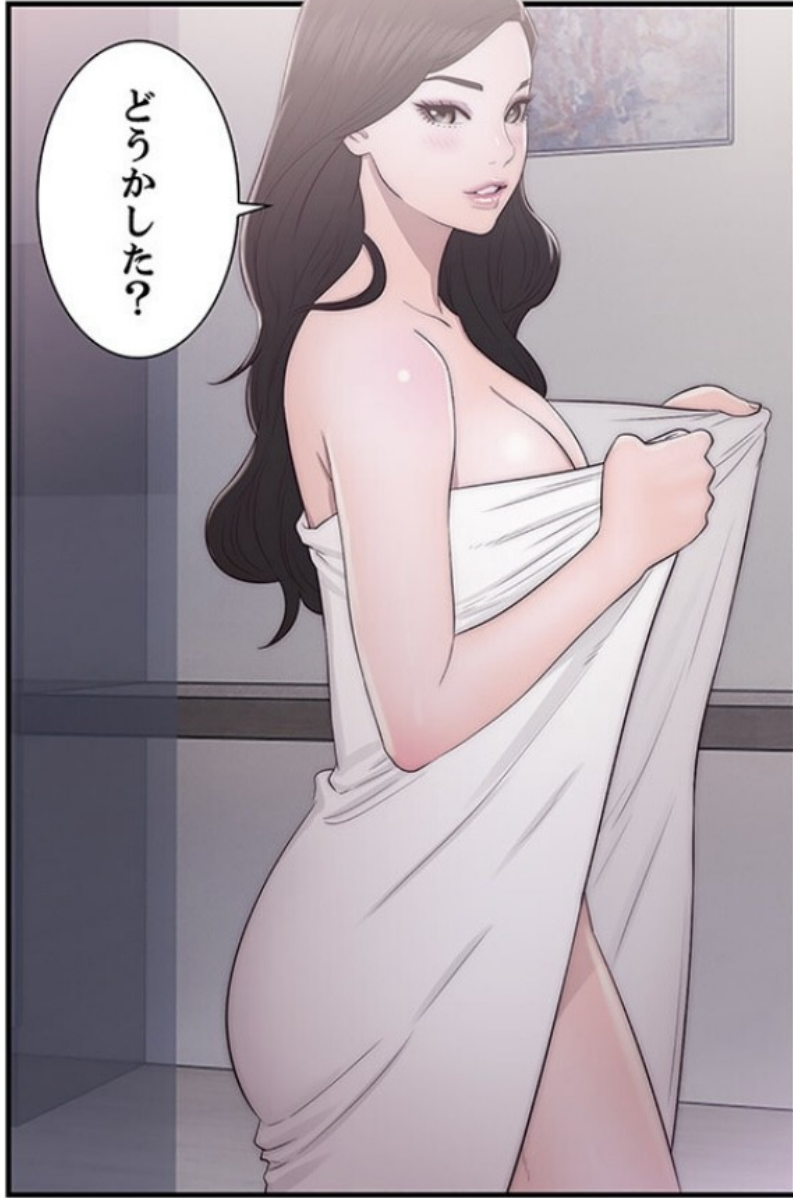
この子ったら  
空気読めなくなったの？

まさか…!?

ギョッ







どうかした？



出て行くか？

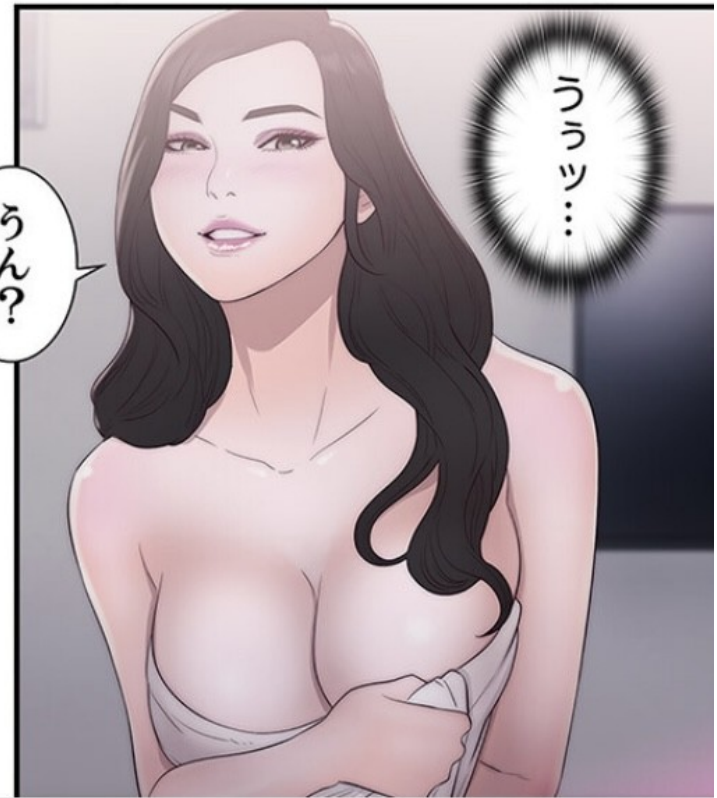
ガ  
バ  
ッ



ガキヤ

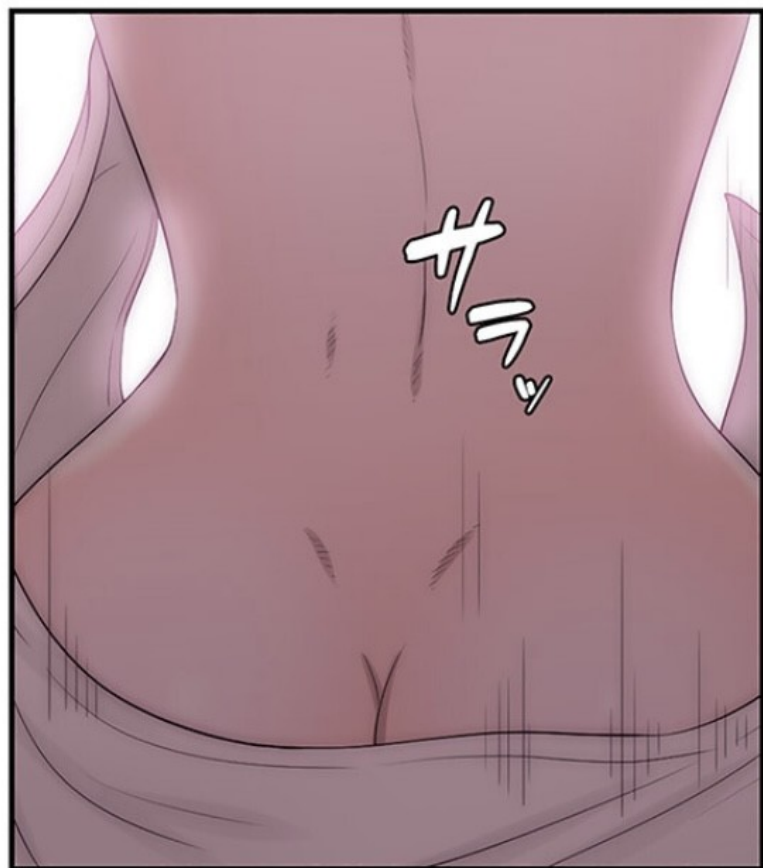


キラッ  
キラッ



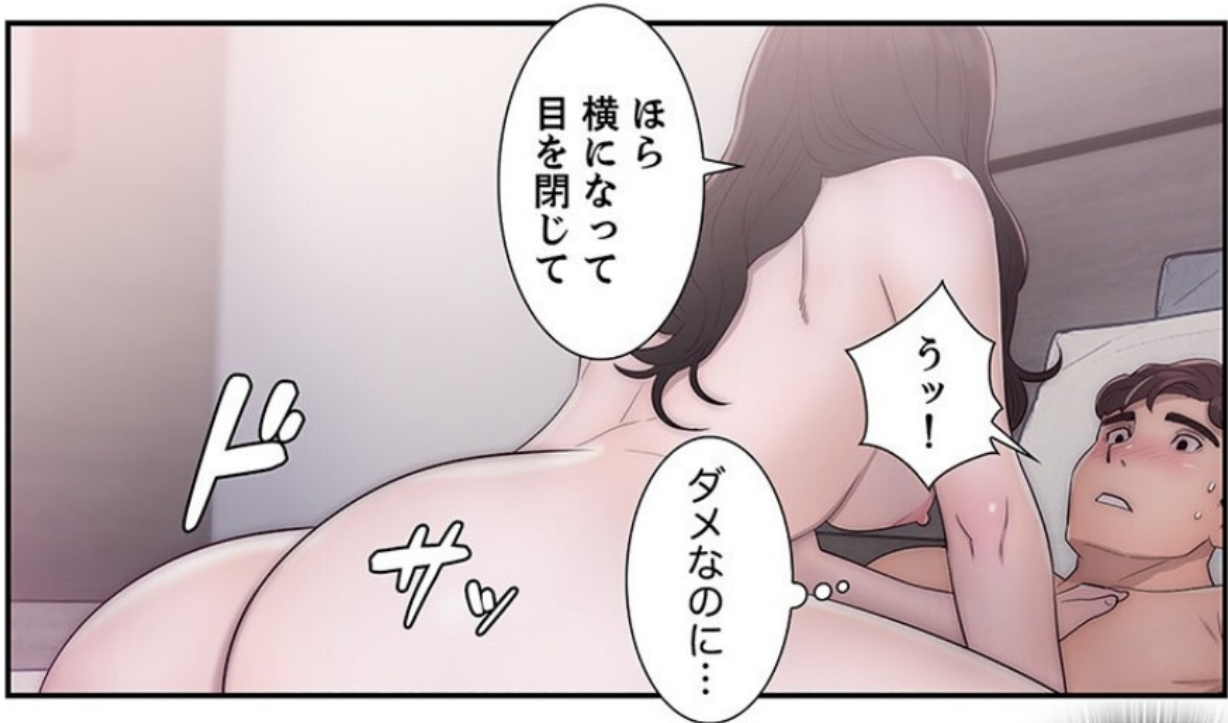
うん？

じ  
じ  
ッ  
…





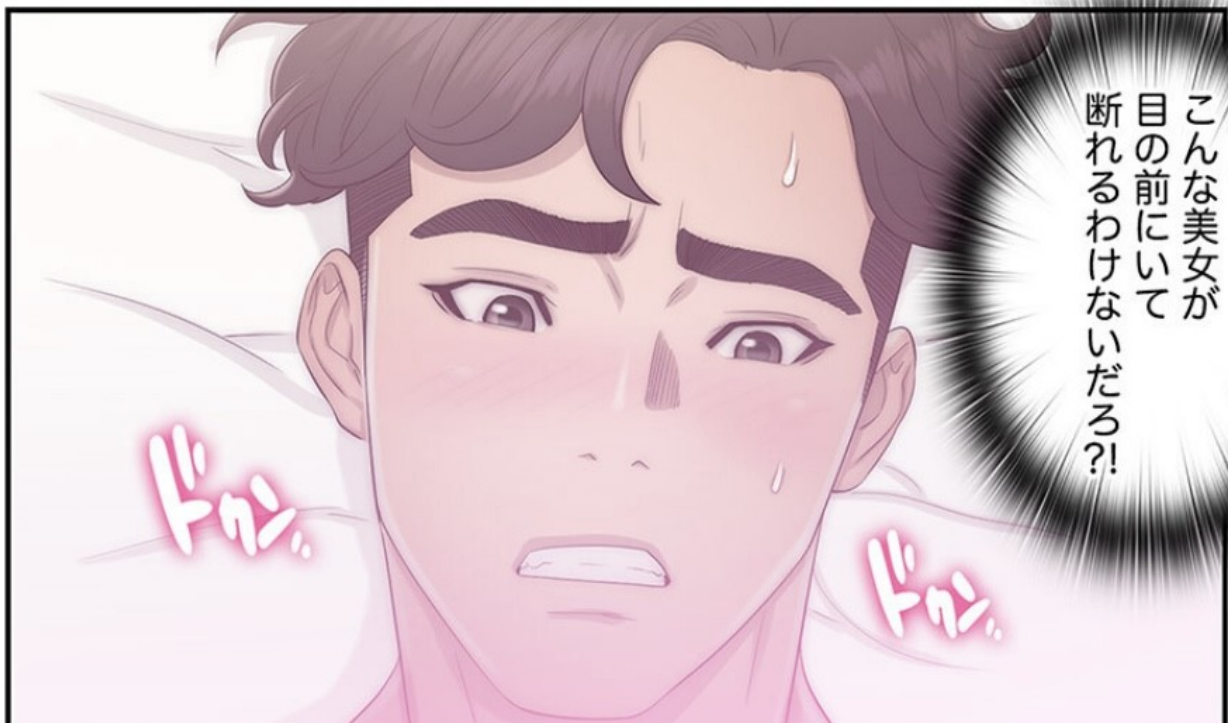
いつもみたい  
私に体を預けて



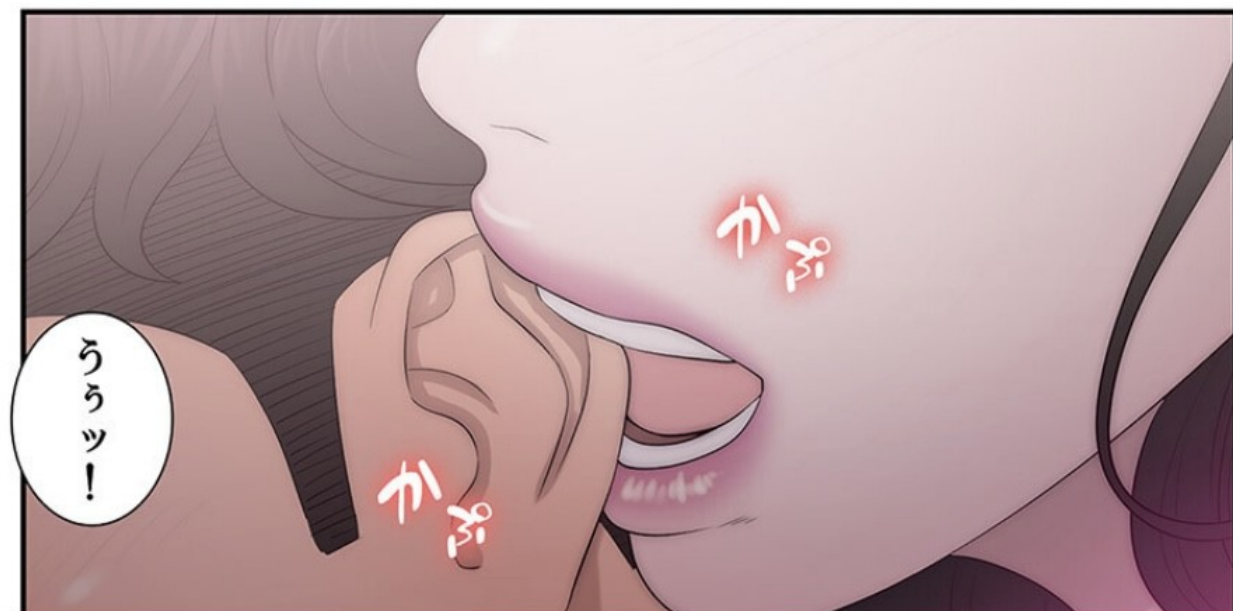
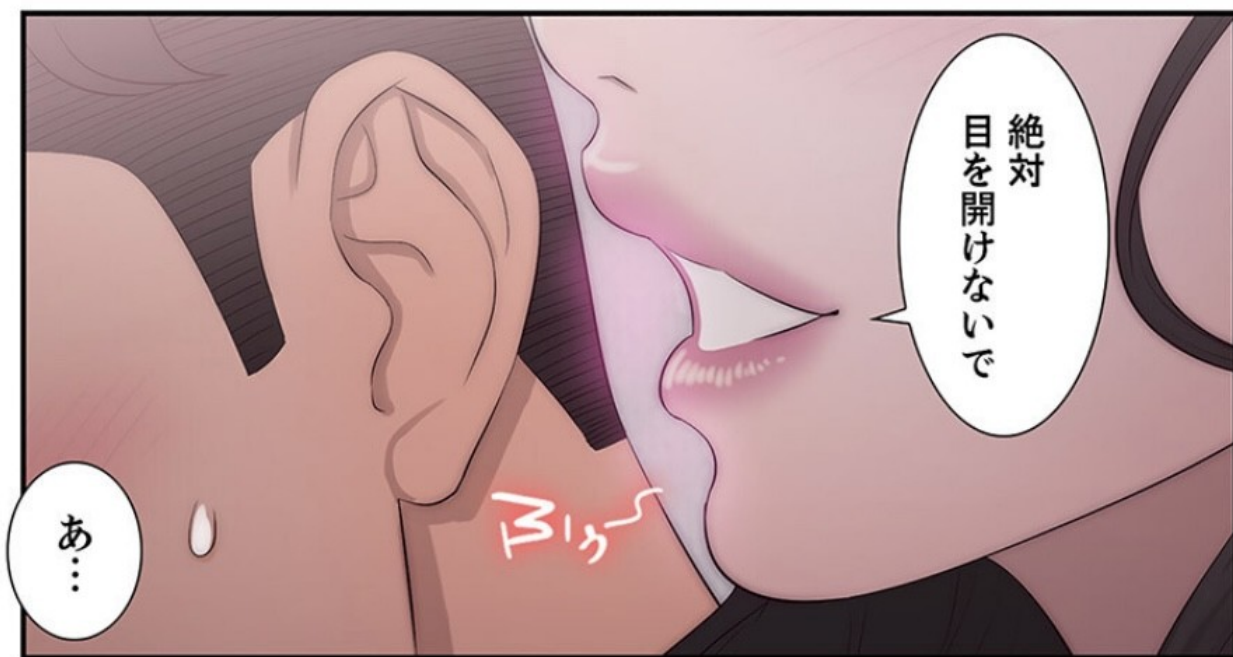
ほら  
横になって  
目を閉じて

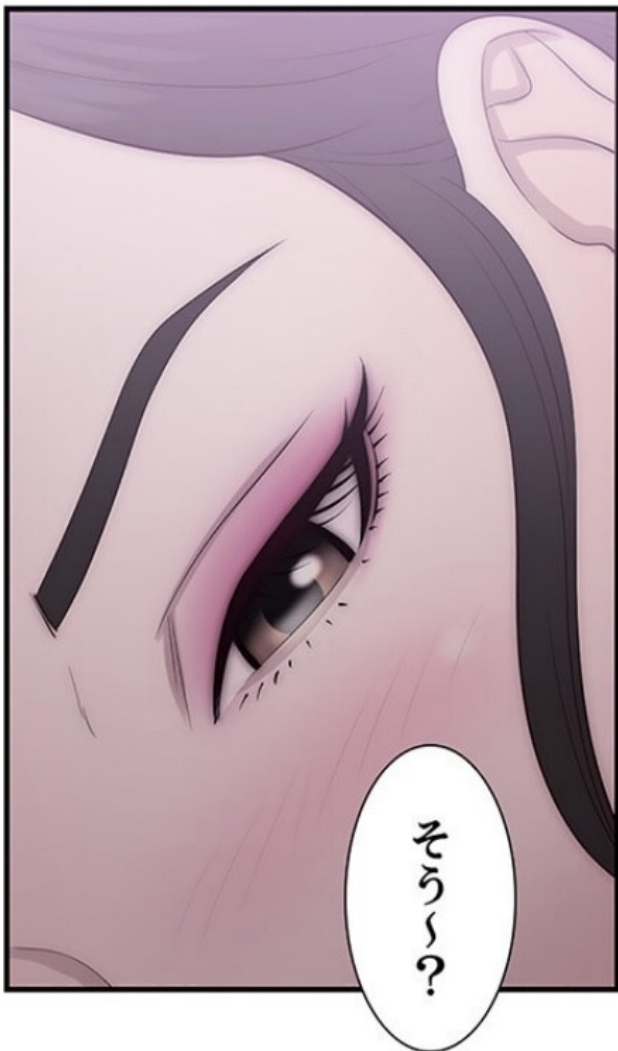
うッ!

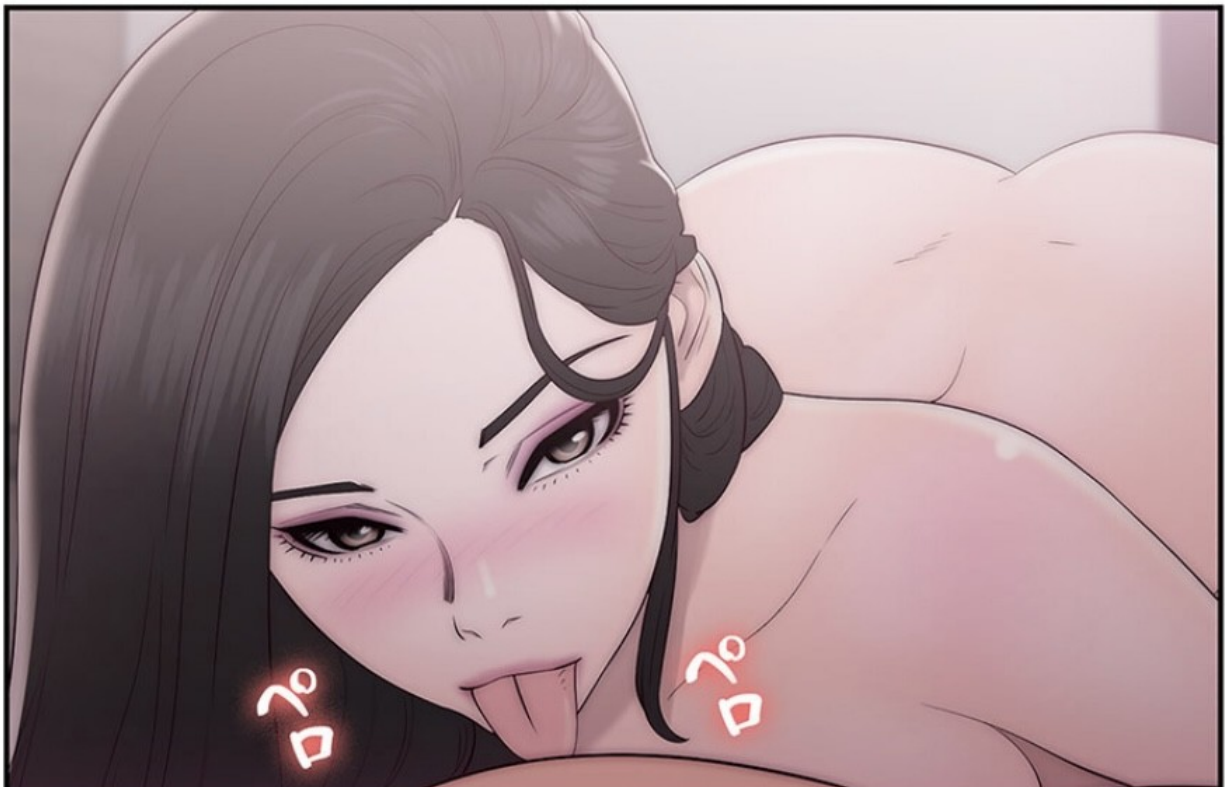
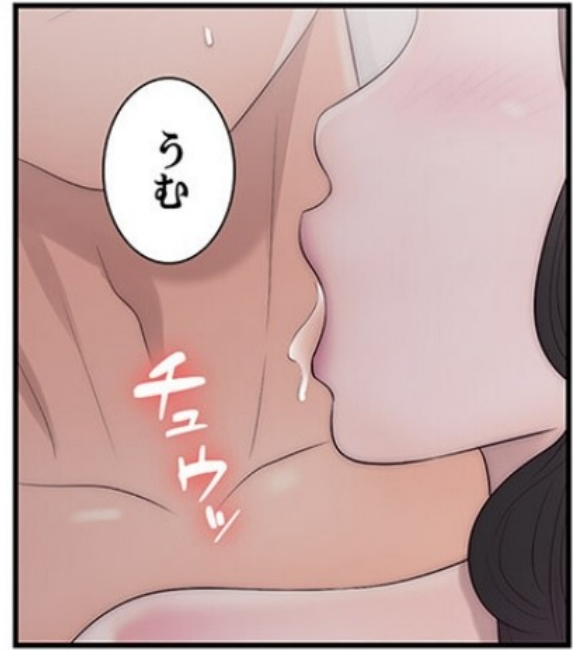
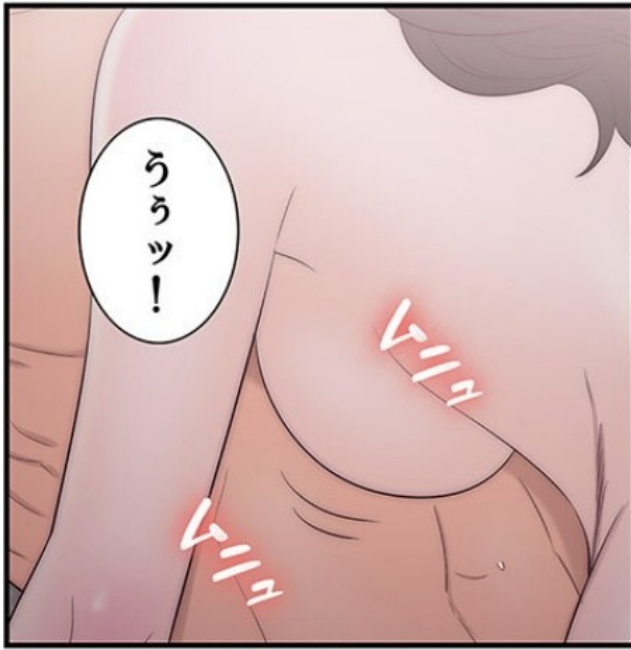
ダメなのに...

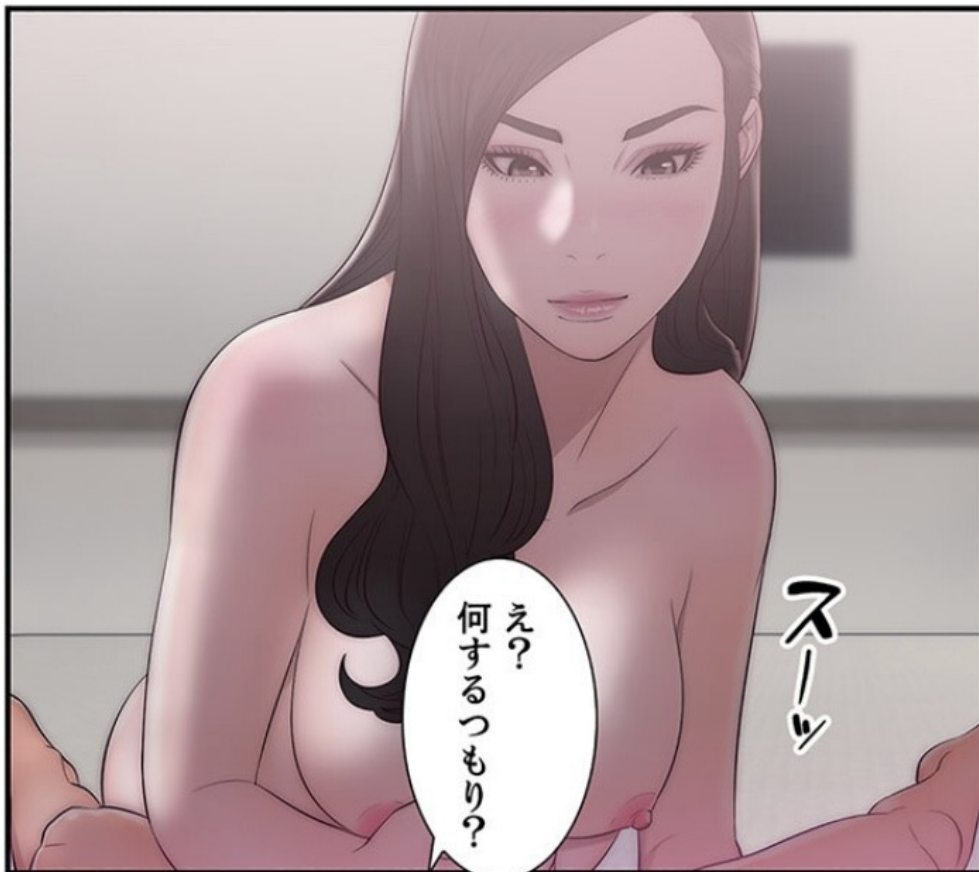
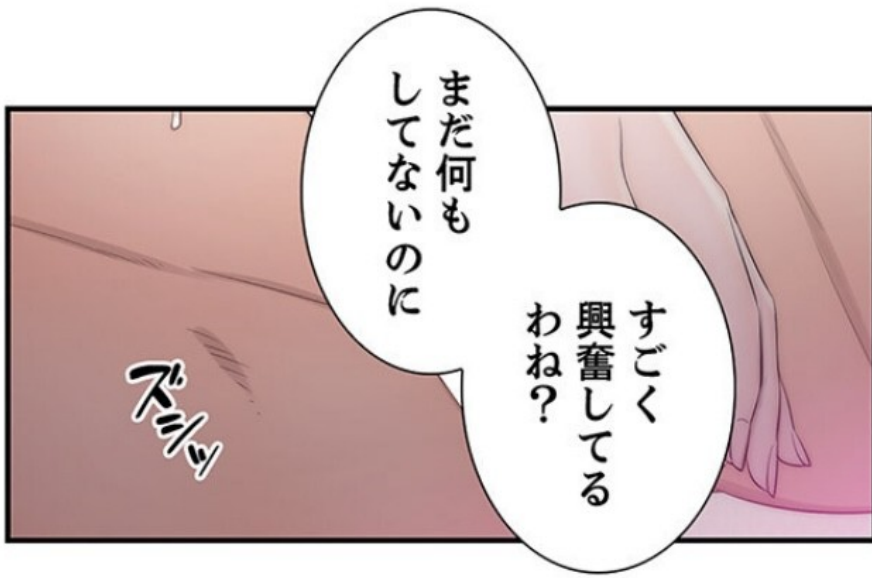


こんな美女が  
目の前にいて  
断れるわけないだろ?!









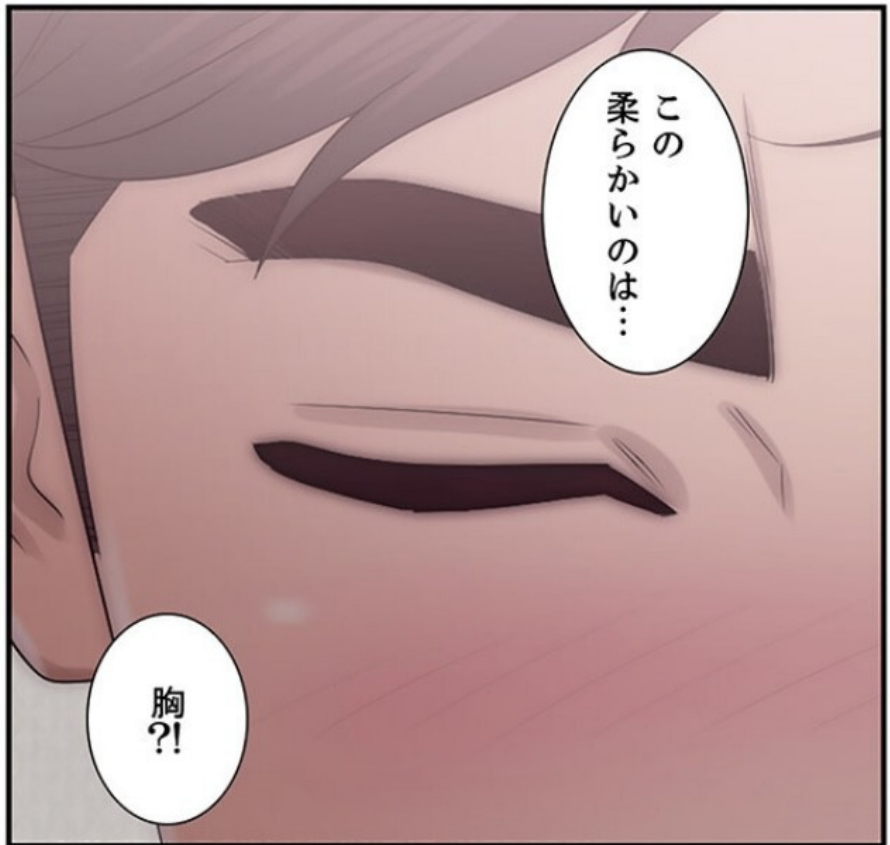


何でしようね?..

ムニユ

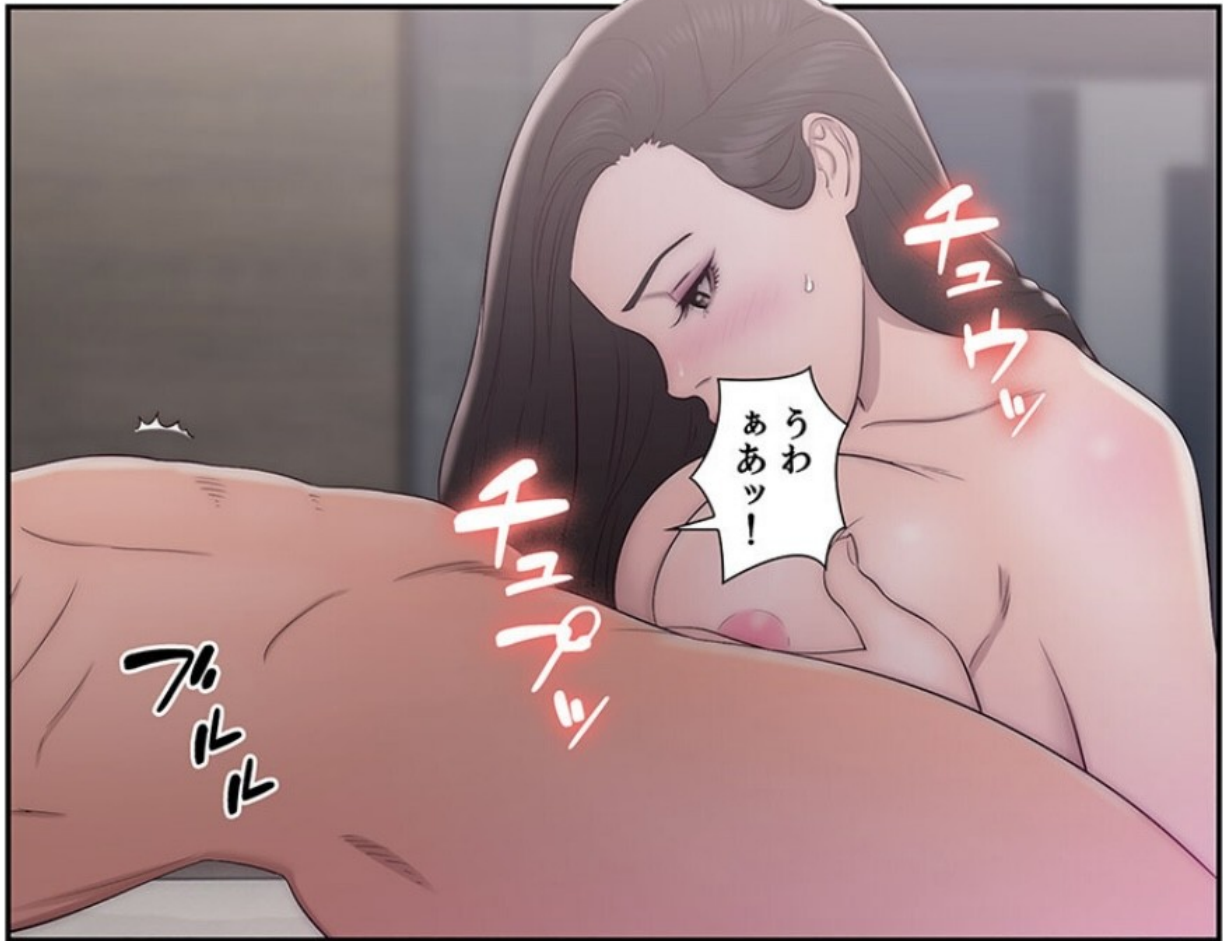


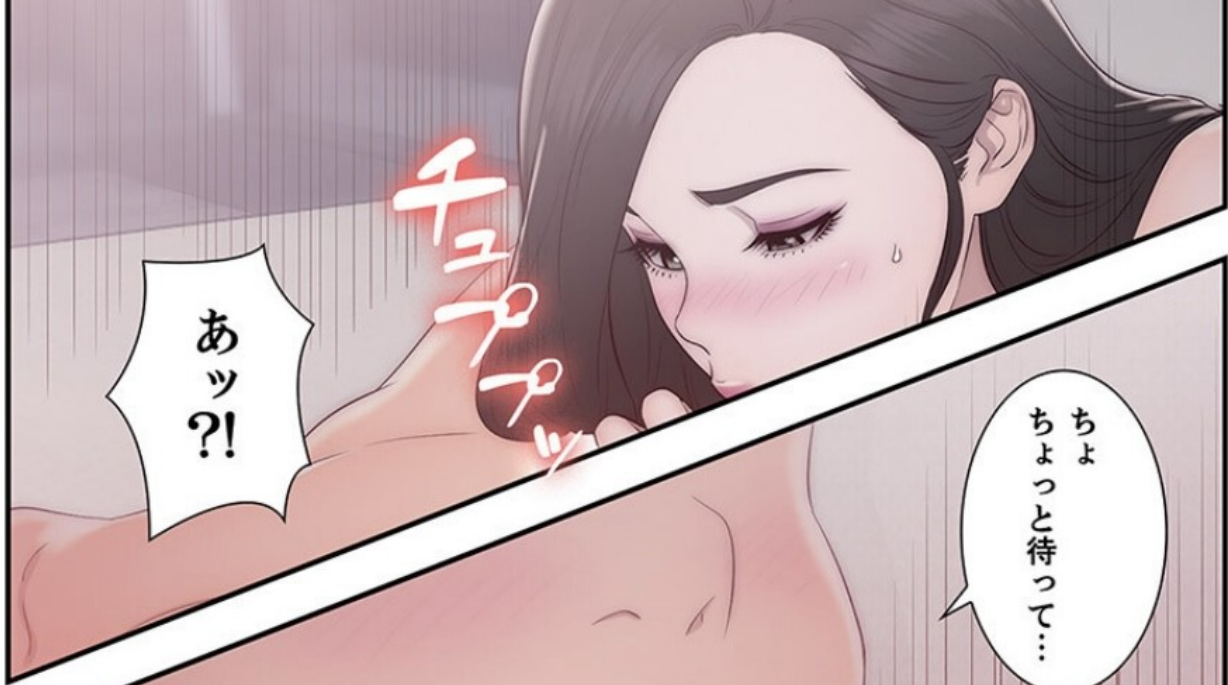
そうよ  
私を店のエースにした  
テクニクよ



この  
柔らかいのは...

胸?!





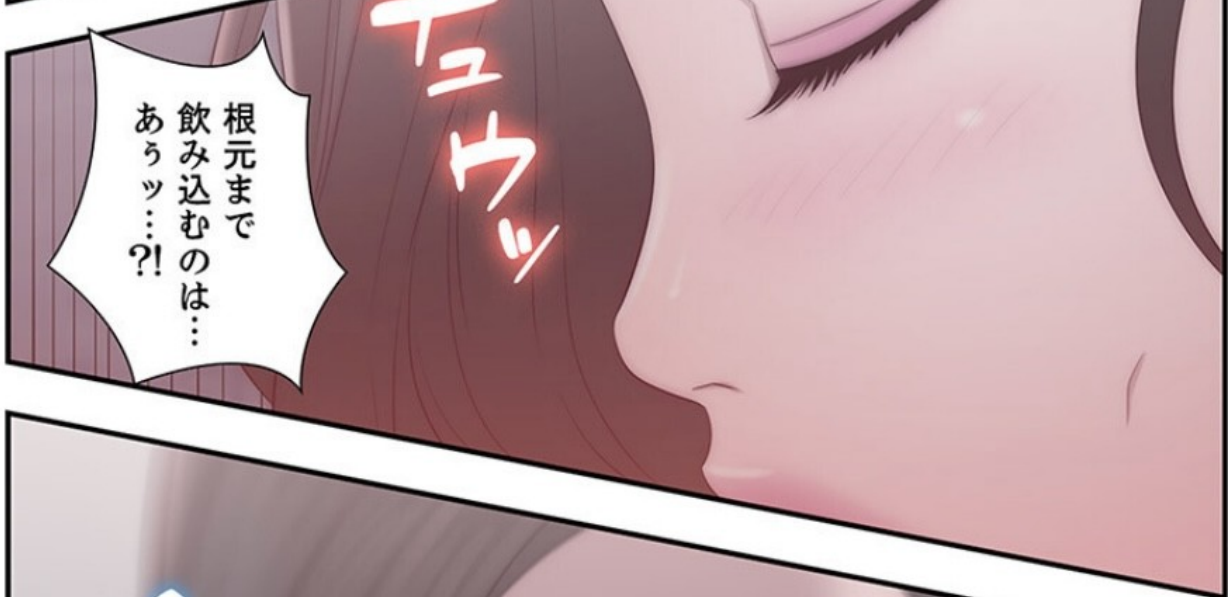
あッ?!

チュウッ

ちょ  
ちよ  
ちよと待って…



ジュウッ

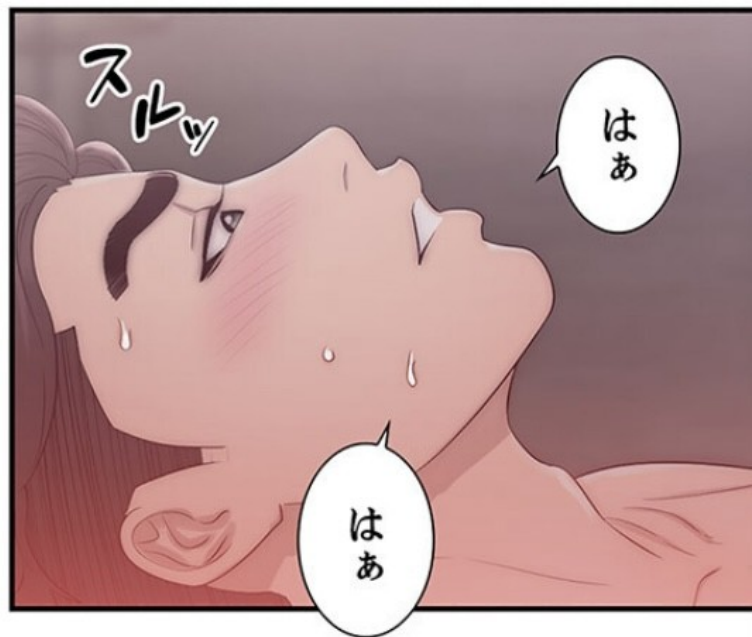
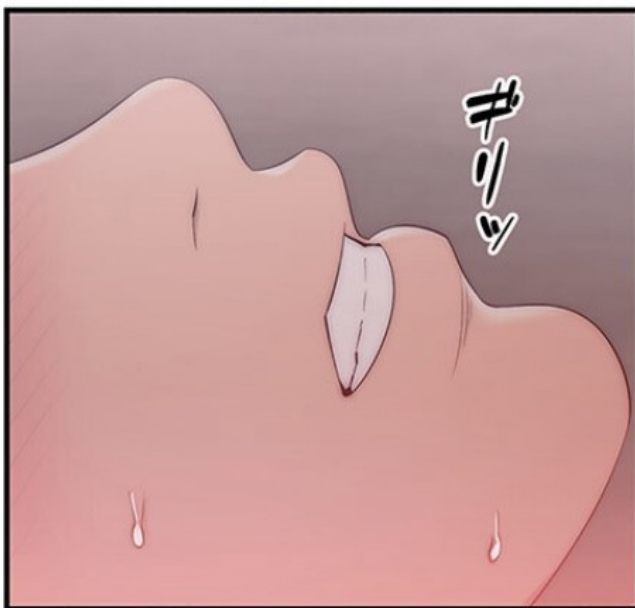
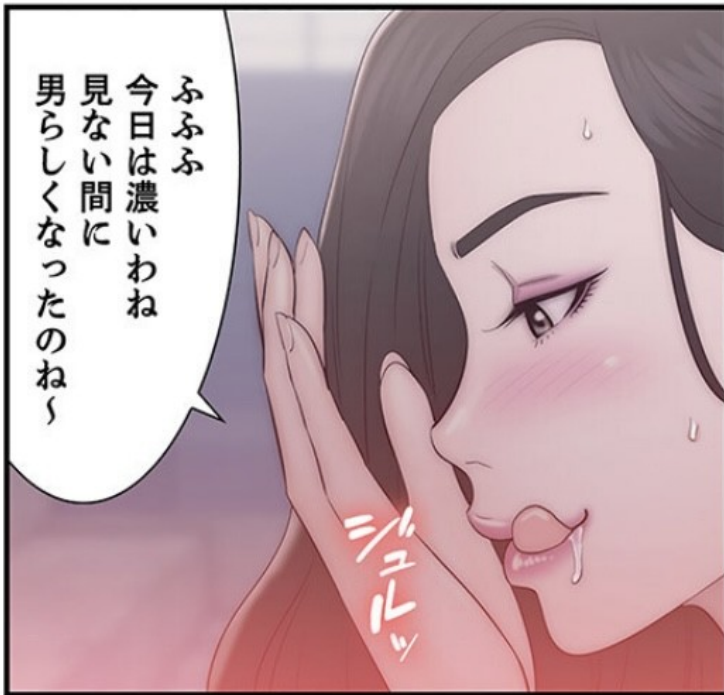
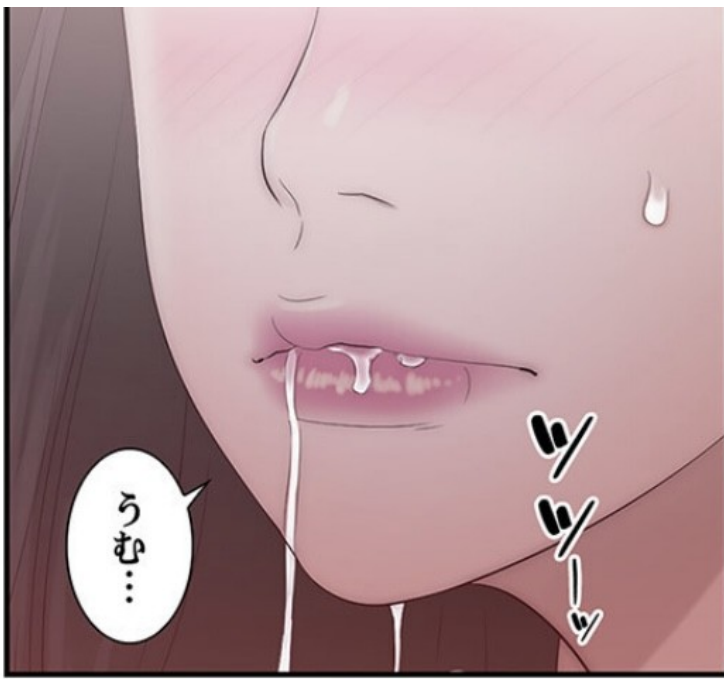


根元まで  
飲み込むのは…  
あうッ?!

チュウッ



ジュウッ







このバカ...!

キュッ

ズッ  
プッ  
プッ  
プッ  
ッ



待って...  
あッ

ヌチャ



ズッ  
プッ  
ッ

あ!



チクシヨー  
入れちまったな...

こうやって自分勝手に  
するのは俺のスタイル  
じゃないけど...



うッ!

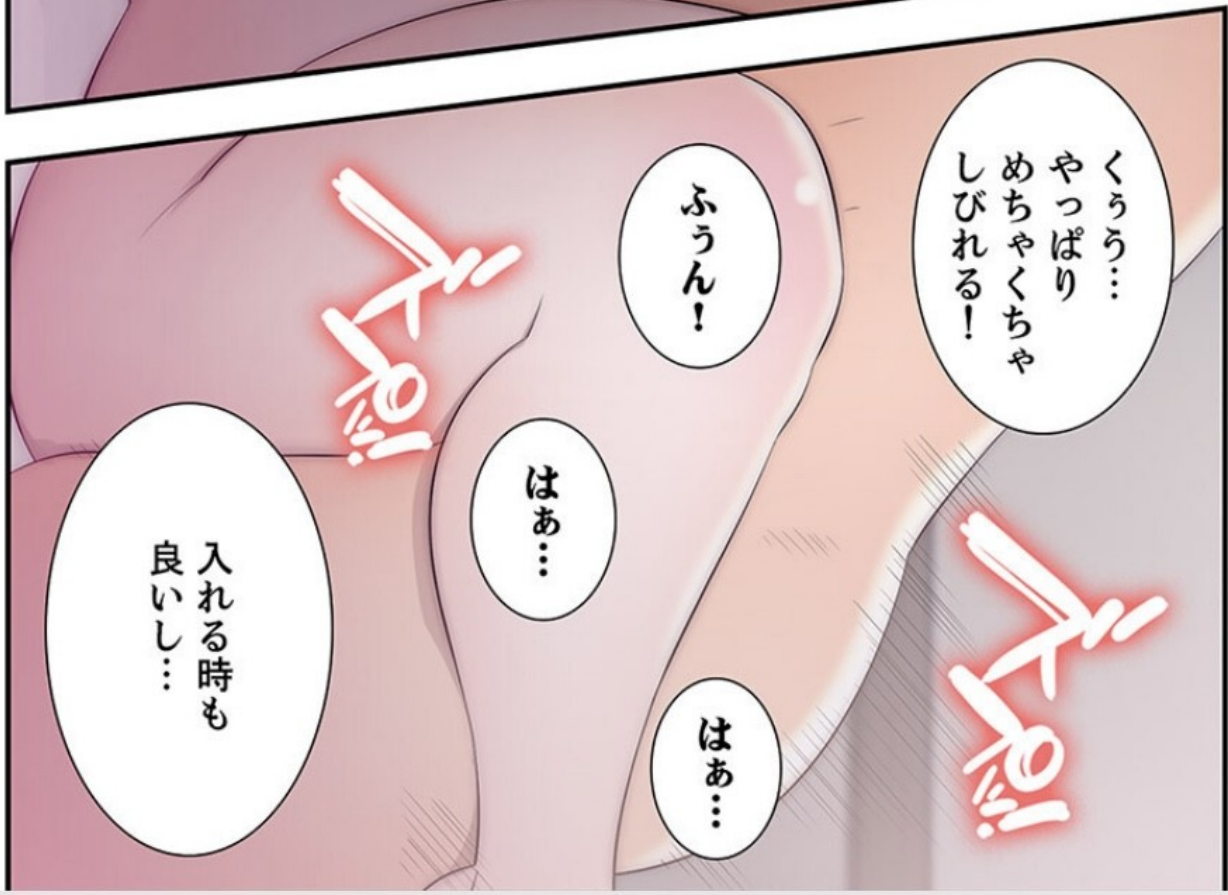
あ!

ううん!

ううッ!!

この女は襲い掛かりたくて仕方がない!

ズッ



くうう…  
やっぱり  
めちやくちや  
しびれる!

ふうん!

はあ…

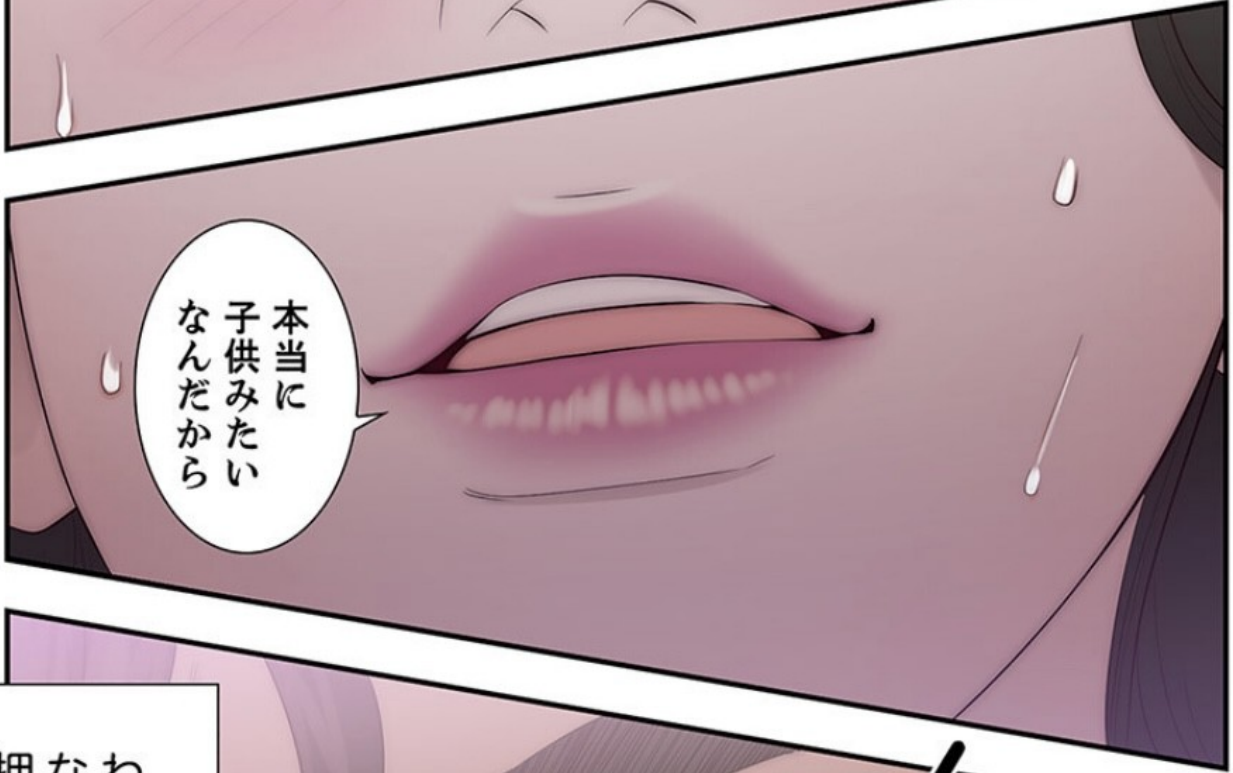
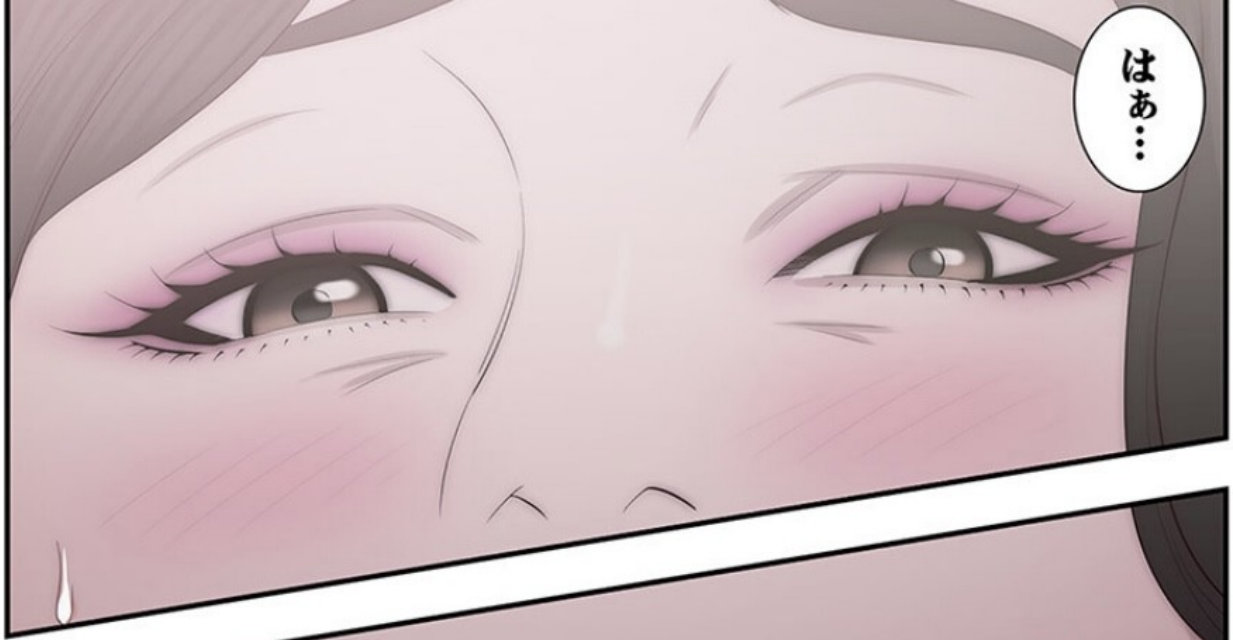
はあ…

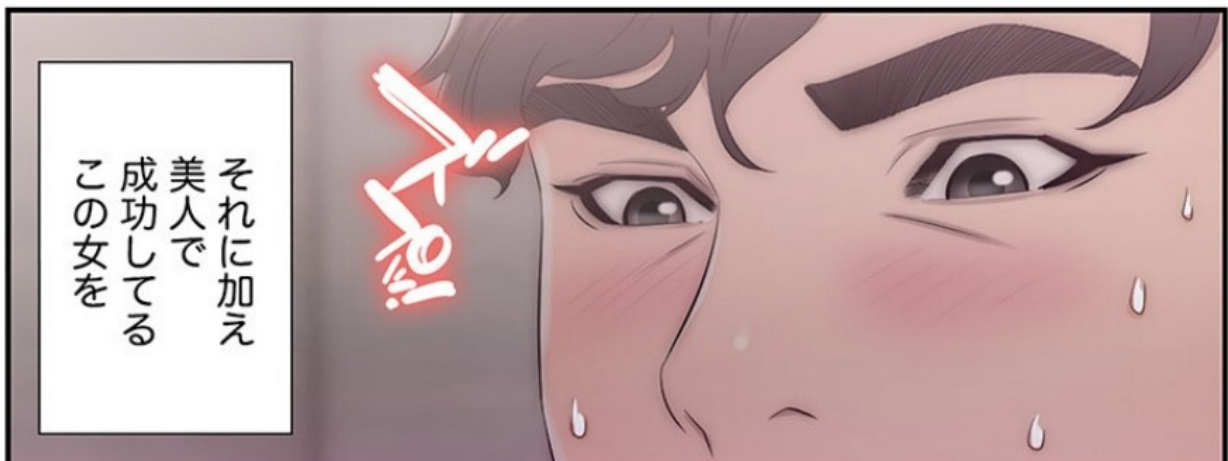
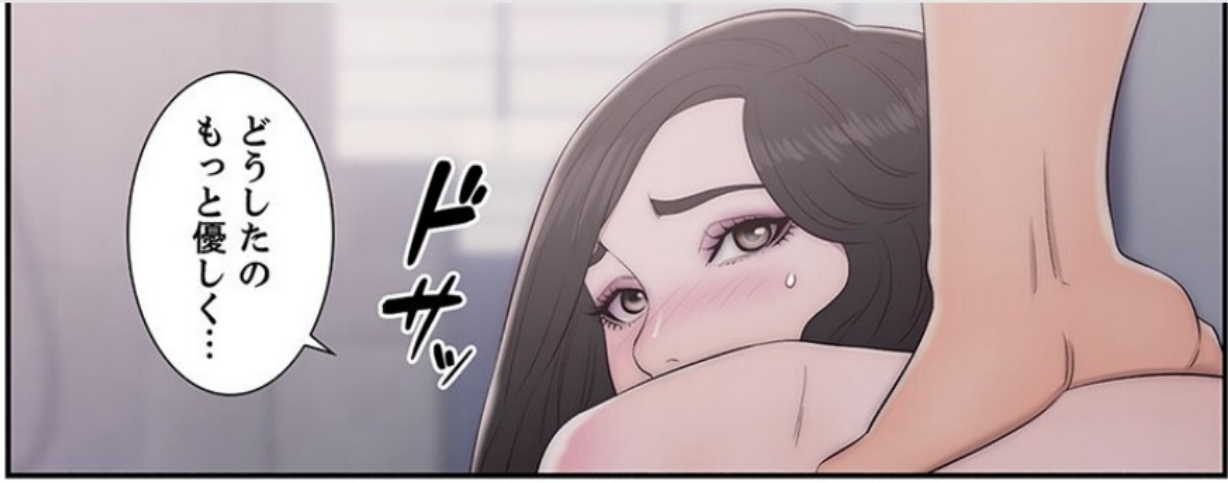
入れる時も  
良いし…

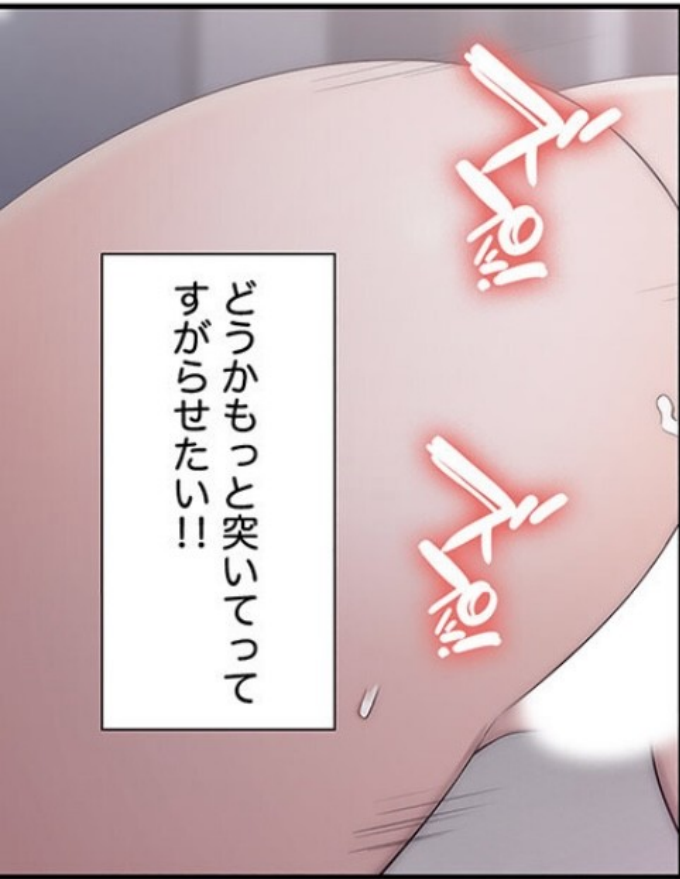
ズッ

ズッ









どうかもっと突いてって  
すがらせたい!!



俺の体で  
押さえつけて  
泣かせたい!

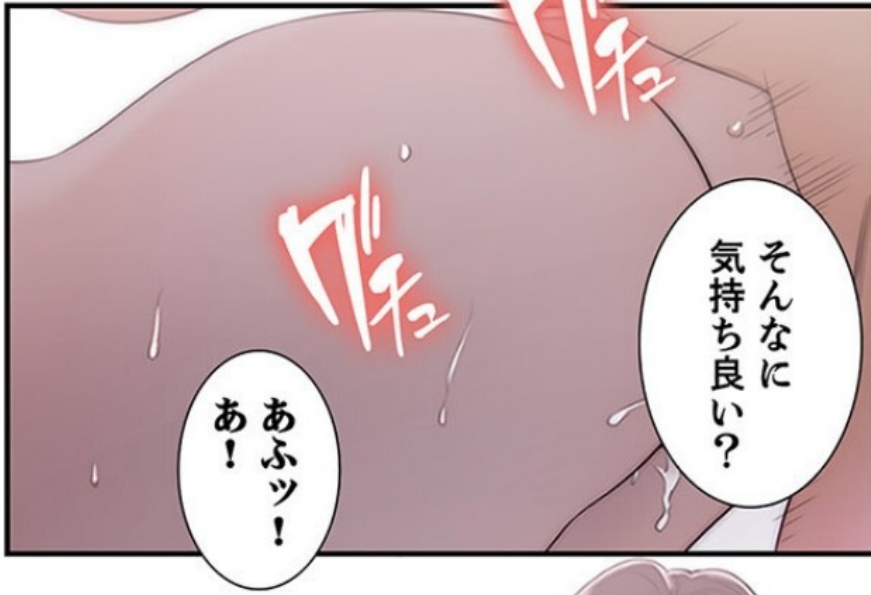
あ!

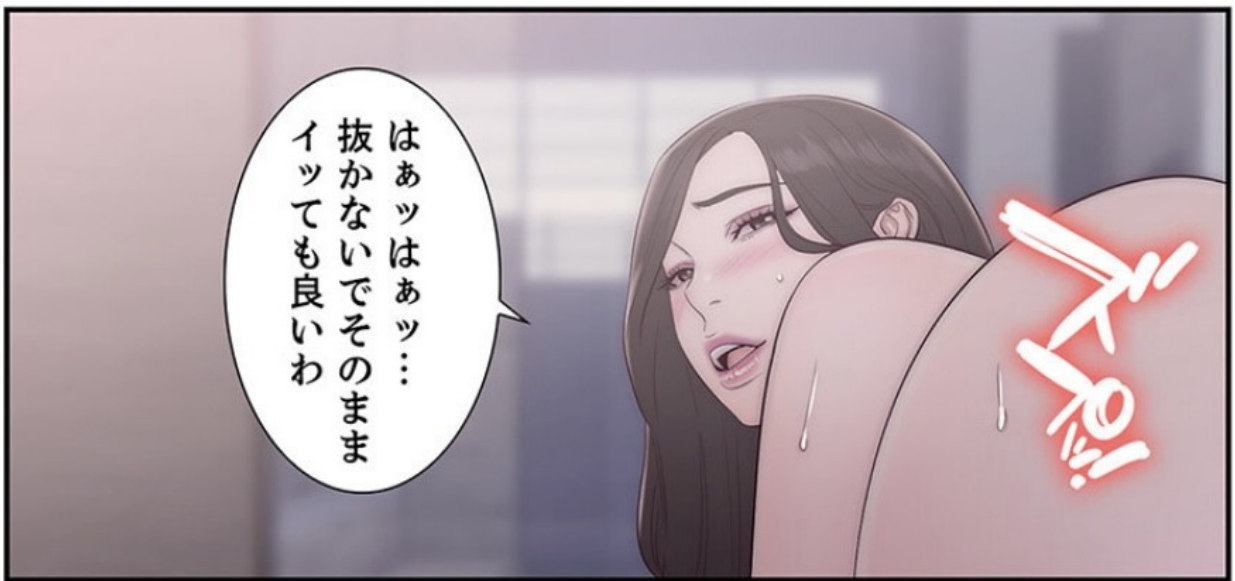
あうッ!

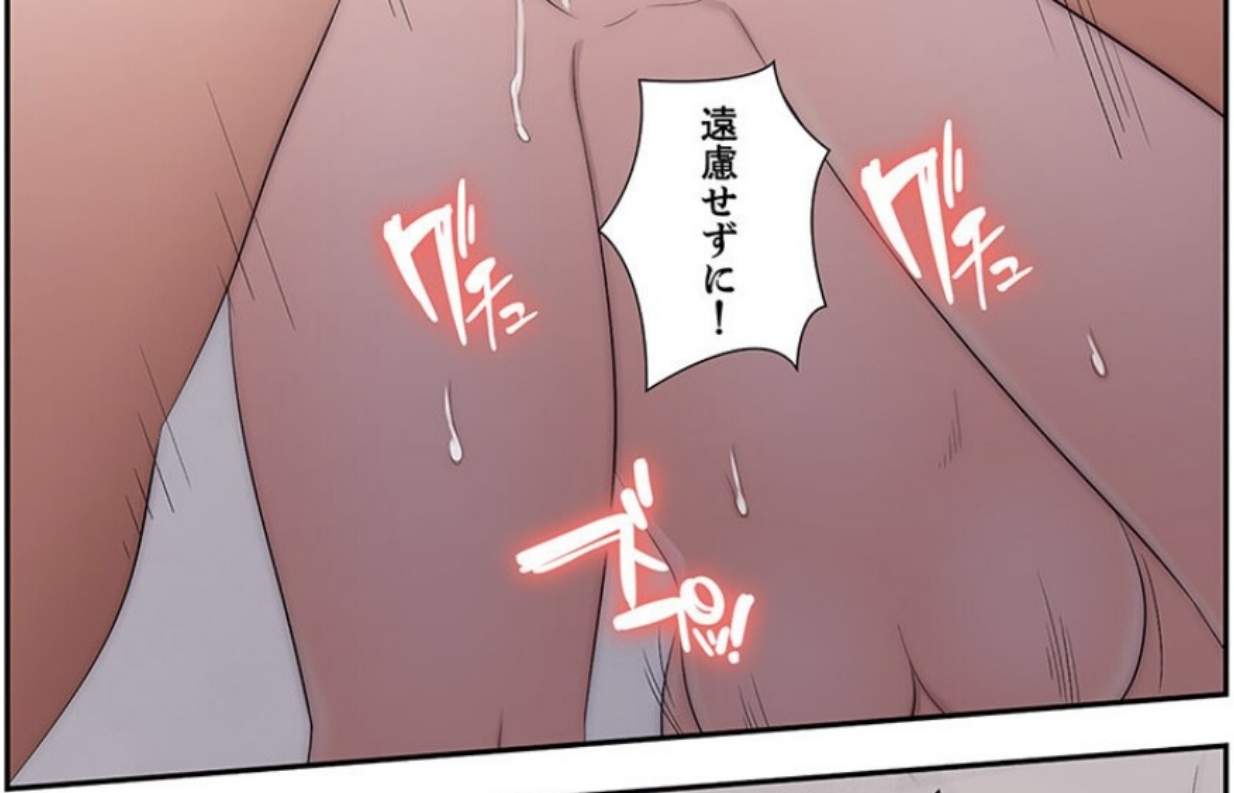


はあッはあッ...

アッ





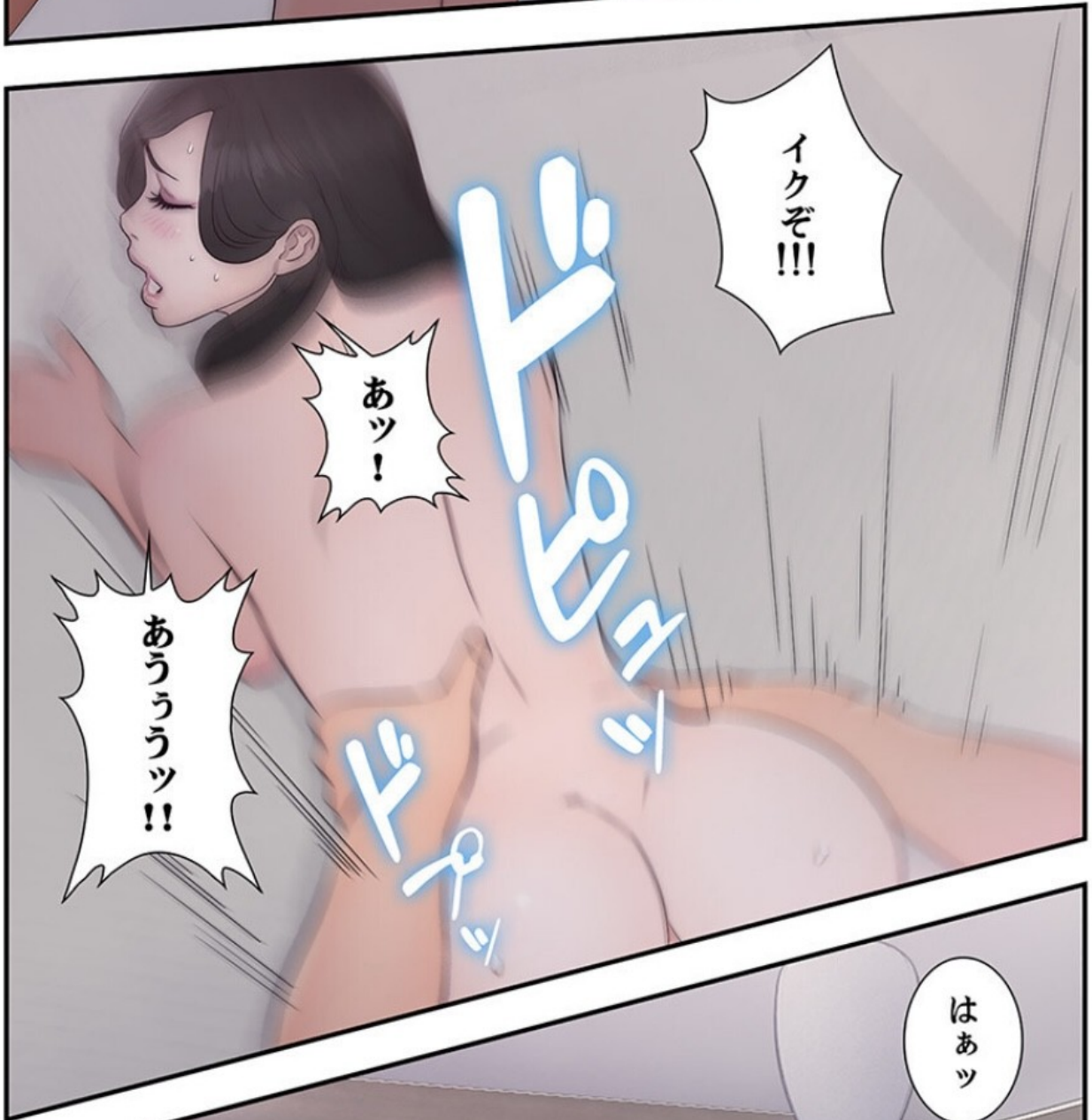


遠慮せずに！

ドム

ドム

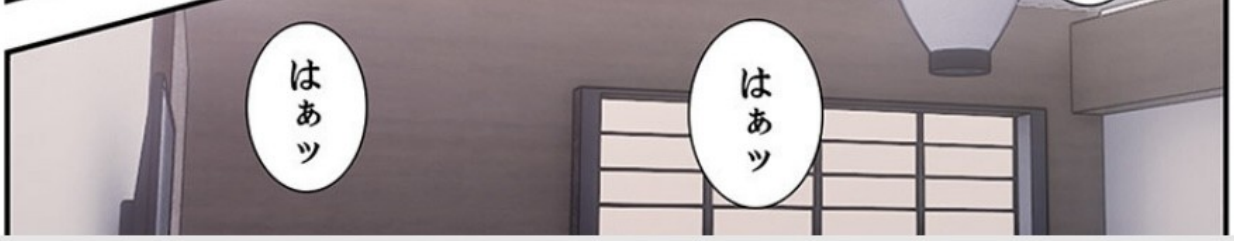
ドム



イクぞ!!!

あッ!

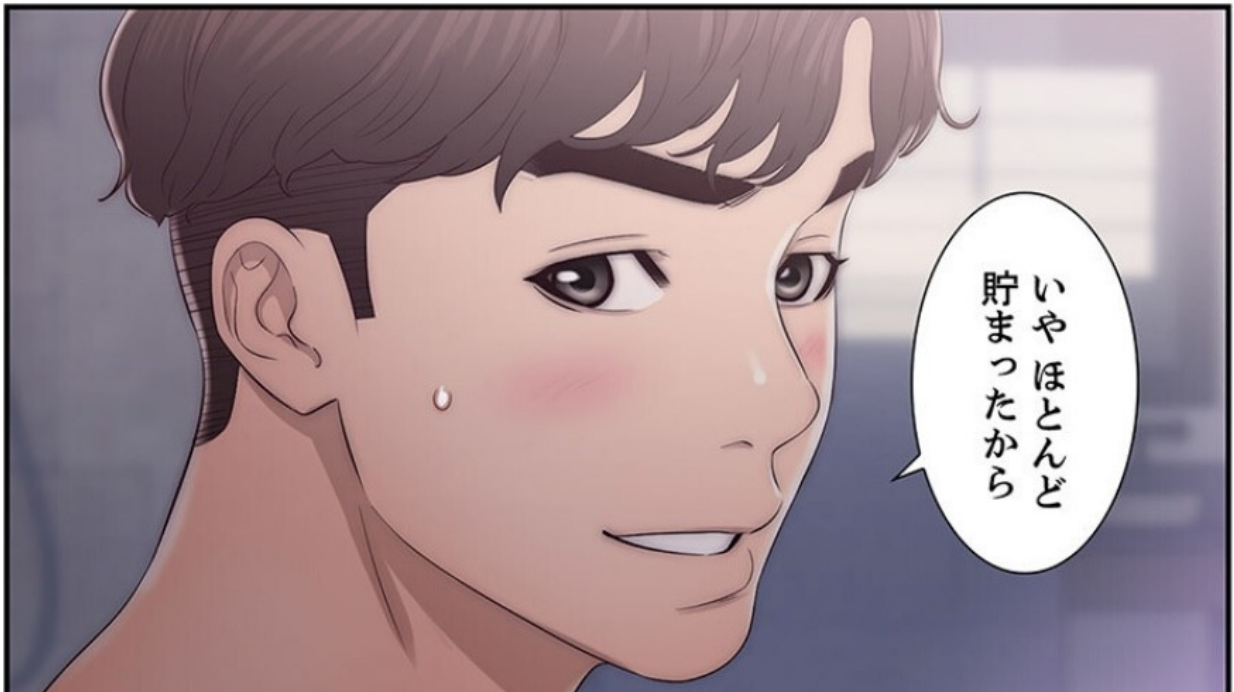
あうううッ!!



はあッ

はあッ

はあッ



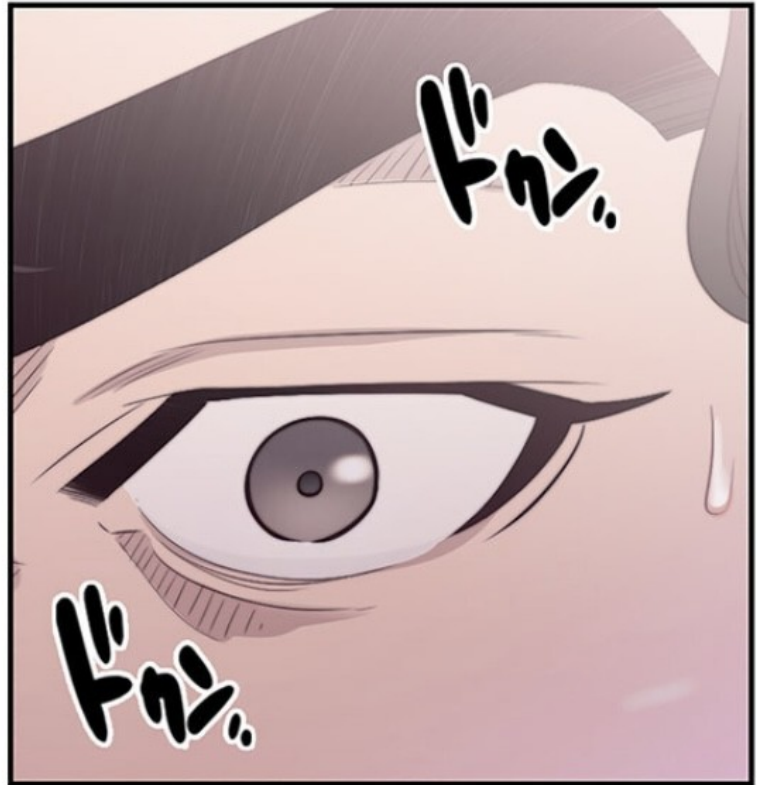




え…？

まどかさん  
何言ってるの？

雄大のフリ  
してたけどお粗末  
すぎるんですよ



ドゥン

ドゥン



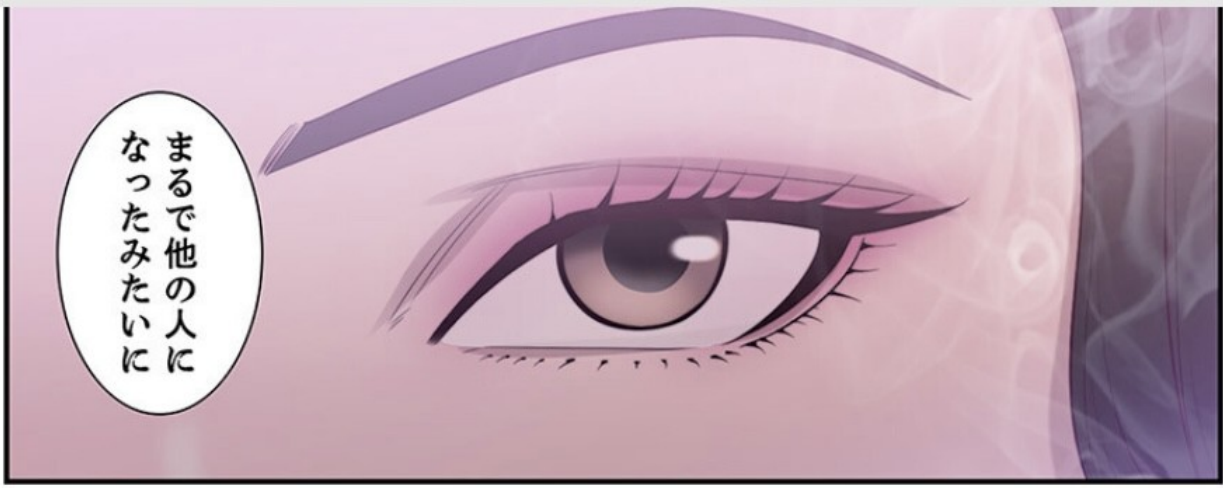
クワッ

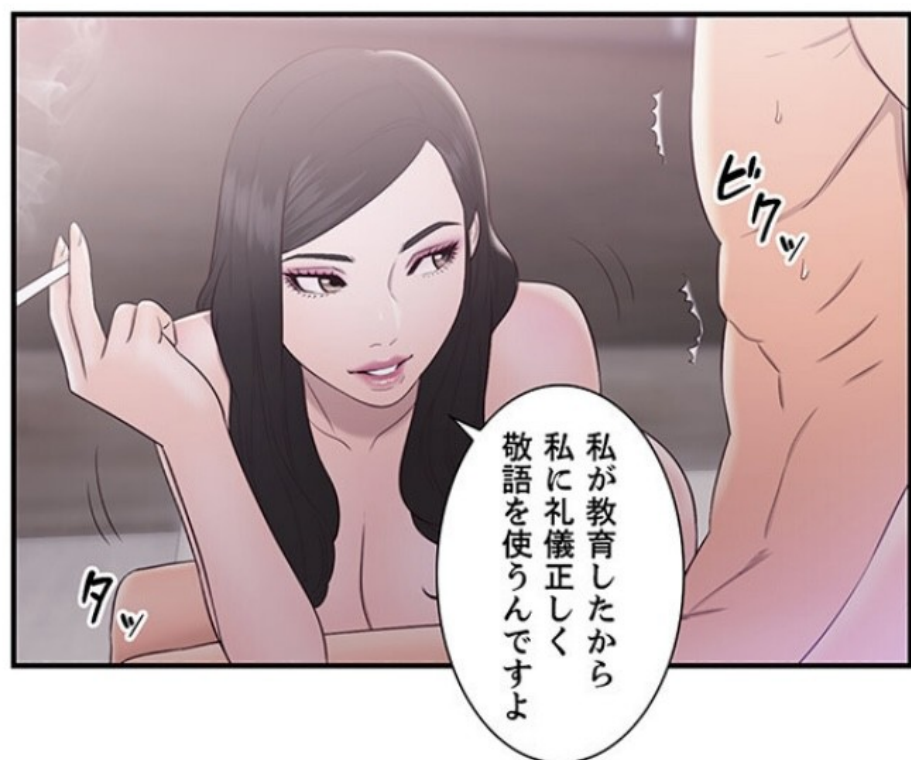
それでよくよく  
考えてみたら  
酒を飲んで眠ってからだけ  
おかしくなったんですよ



初めは雄大が  
心変わりしたと  
思ってたんだけど

岸本千夏の為に  
私を裏切る子じゃ  
ないですからね

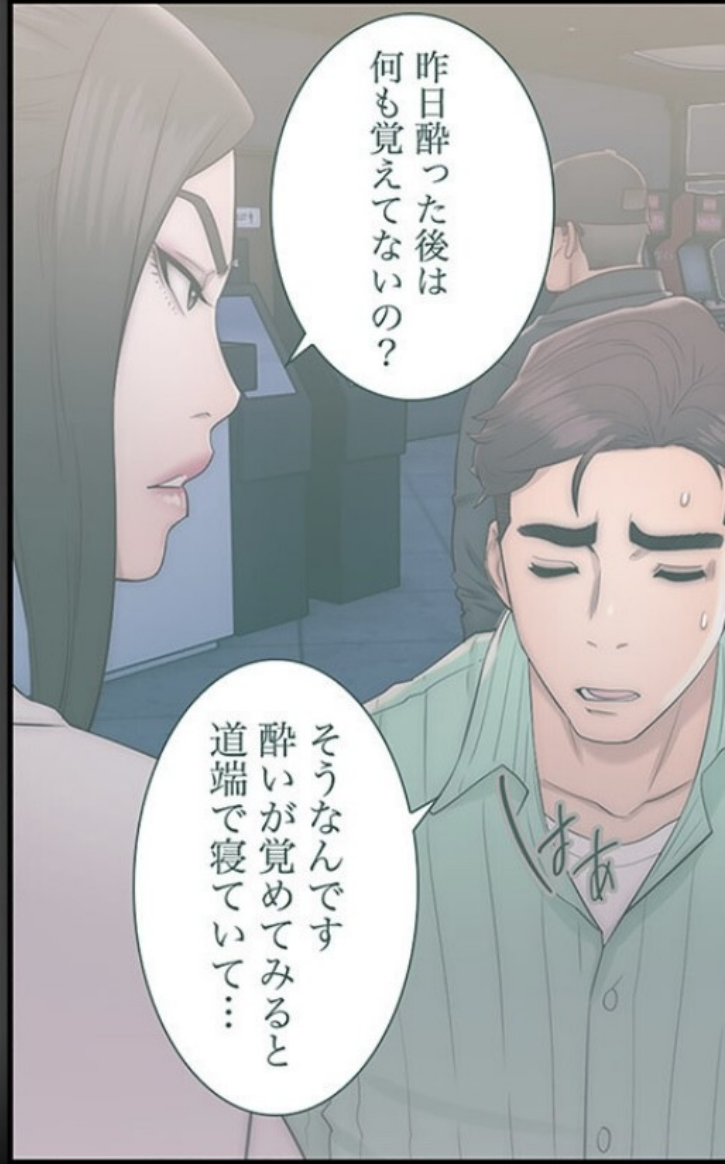






スッ

だから何個か  
テストをしてみたんです



昨日酔った後は  
何も覚えてないの？

そうなんです  
酔いが覚めてみると  
道端で寝ていて...



二つ目は私たちの  
初体験

ベッドじゃなくて  
屋外でバックで  
したんです



一つ目は耳  
雄大は  
そこを愛撫すると  
めちゃうくちゃ  
イヤがるんです

あなたは  
はぐらかし  
ましたよね



なんでいきなりそんな話をするんだと思ったらテストだったのか…！



そして最後はバイト代で何をするのかってこと



自分の母親の為だったのか？



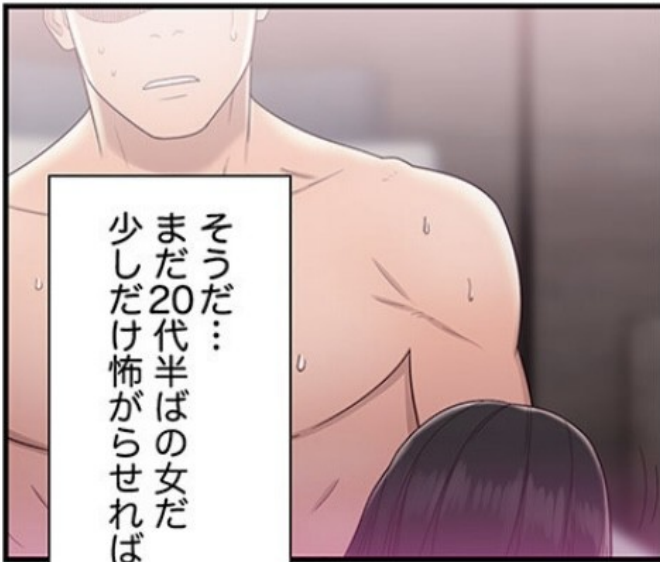
それも間違った返答だったんだな…

あせ

そうですお母さんに海外旅行を贈ってあげようとしたが正解でした



これは弁明の  
余地がない



そうだ…  
まだ20代半ばの女だ  
少しだけ怖がらせれば…



これでもあなたが  
雄大だって  
言うんですか？



あなたは雄大について  
あまりにも知らないまま  
なりすましてたんですよ

おしまいだ  
どうしよう  
□封じでもするか？



もしそれが  
事実なら  
今かなり危険な  
状況じゃないか？

ギョッ

うん？



ガシッ

おい



ニヤ

どうして？

そんな必要が  
ありますか？



カツ

俺があなたを  
傷つけるかもしれないって  
考えなかったのか？

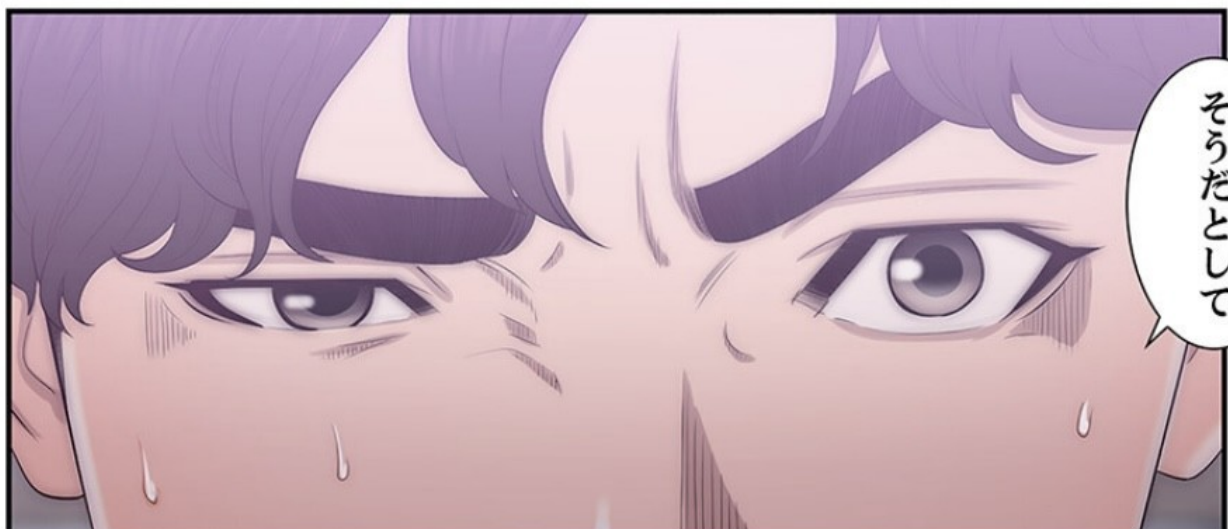






スッ

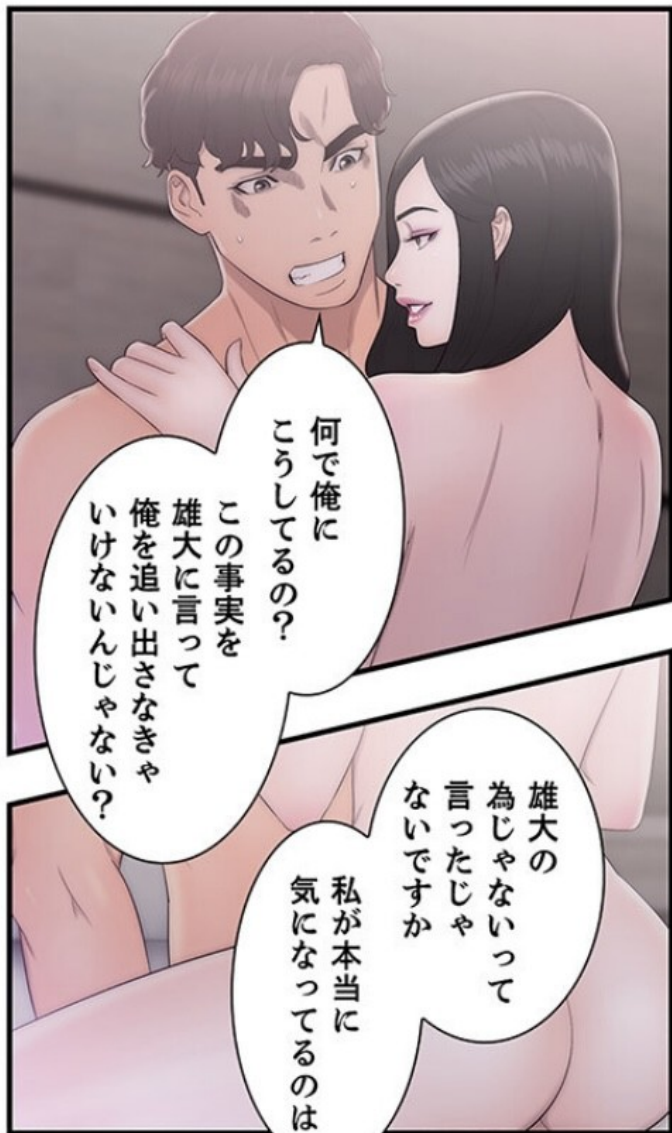
けど今日の午後に  
会ってみると  
いつも通りでした





どうすれば  
他の人の体を奪えるか

その方法を  
教えていただけ  
ませんか？



何で俺に  
こうしてるの？

この事実を  
雄大に言っ  
て俺を追い出さなきゃ  
いけないんじゃない？

雄大の  
為じゃないって  
言ったじゃ  
ないですか

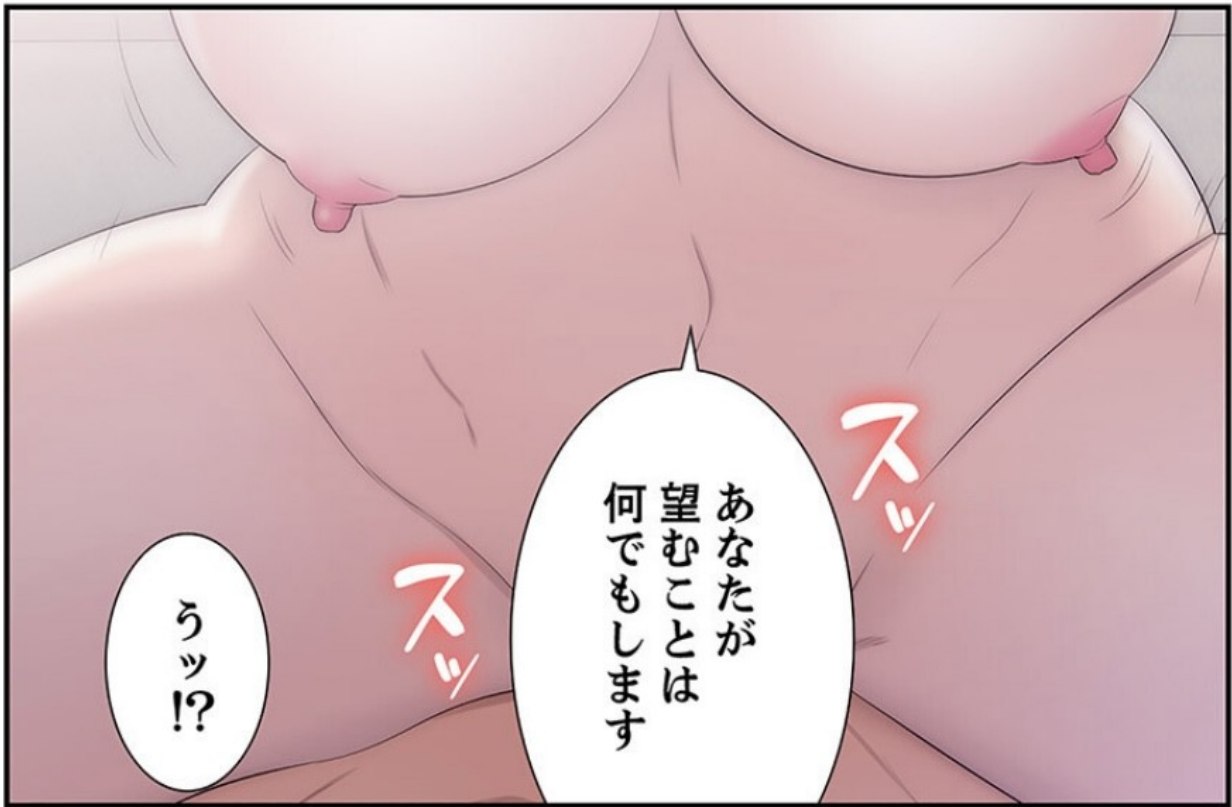
私が本当に  
気になってるのは



教えてくれたら  
何でもしてあげる  
んですけど



何だこの女…  
何しようかと…





こんなに  
若い子が  
一体なんで…？

もしかして私の事  
信じられない？



うッ？!



それなら私を  
信じられるように  
します

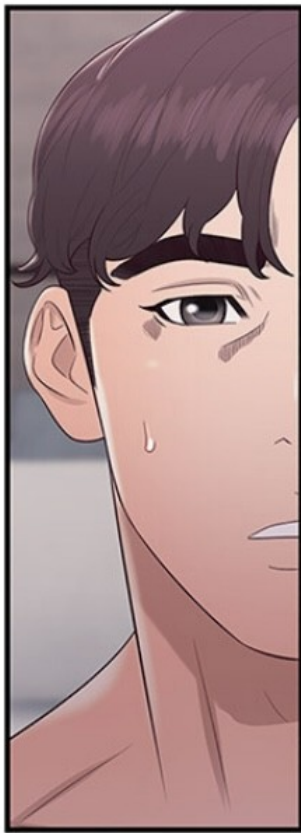
もみ

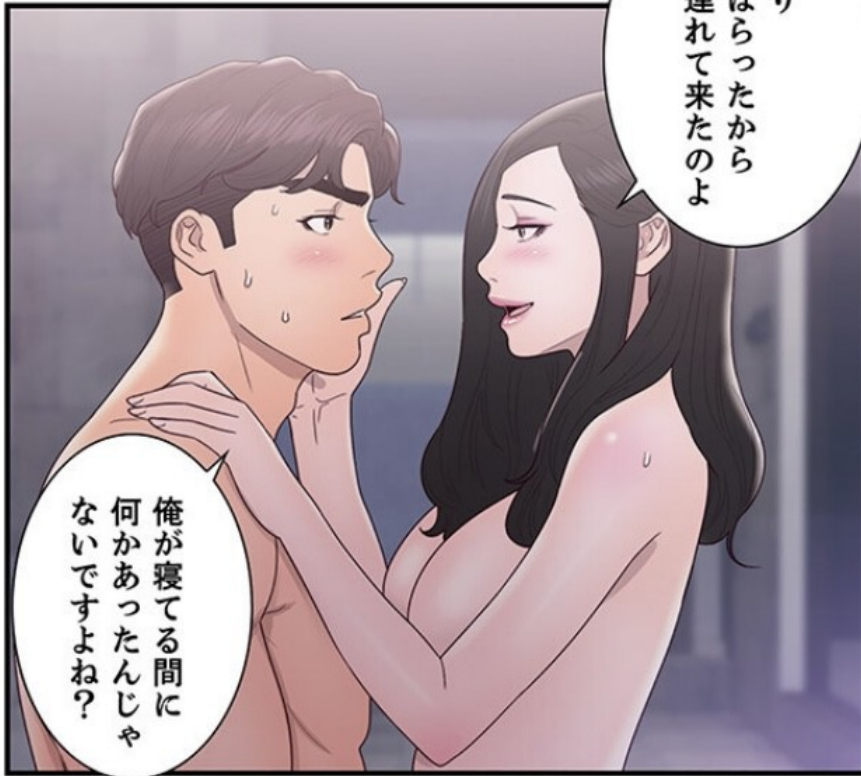


何してる  
んだ？!

ビクッ







かなり酔っぱらったから私が連れて来たのよ

俺が寝てる間に何かあったんじゃないですよね？



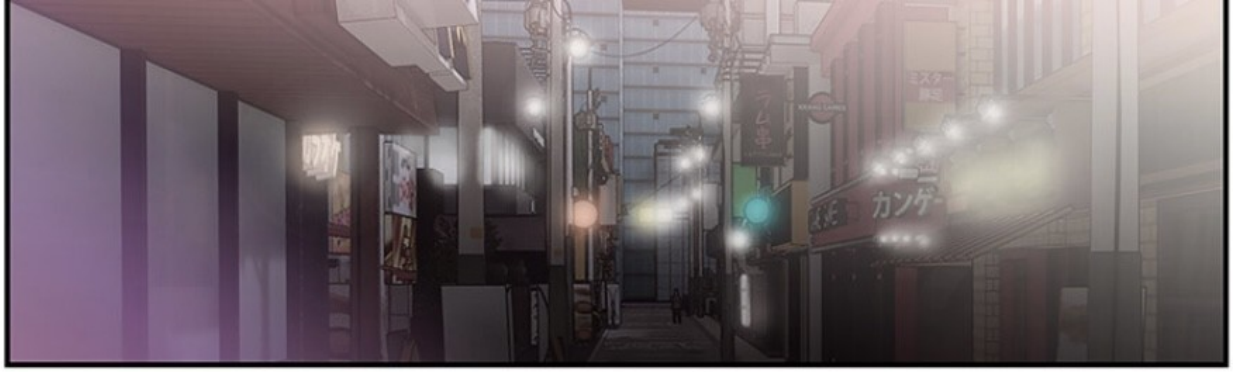
あなたが



もちろん何もなかったわ

スツ  
今から続きをしてあげる







## 偽りの青春 6

著者           ドクハク&HB

発行           Rush!

表紙デザイン   CoCo.Design

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。  
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。